SEAPOWER
1200

取扱説明書

目次

安全上のご注意 ----------1〜9

電源について----------10〜12
電源とのつなぎ方----------10
電源について ----------11
バッテリーチェック表示について----------12

お手入れ方法----------13,14
リールのお手入れについて----------13
お手入れ方法----------13
コード取扱い上のご注意----------14
コードのお手入れのしかた----------14
その他お手入れ上のご注意 ----------14

各部の名称と機能----------15,16

スイッチの名称と働き----------17

はじめに----------18

機能設定の基本操作----------19〜40
1.メニュー画面の使い方----------19,20
便利機能の設定のしかた----------19,20
2.道糸入力----------21〜30
P1 糸長入力 ----------21〜23
P2 下巻入力 ----------24〜27
P3 引出入力----------28〜30
3.釣りを始める前に----------31
水面ゼロ設定----------31
道糸が切れてしまったら----------31
4.船べり停止 ----------32
えらべる船べり自動停止----------32
5.底からカウンター----------33
6.糸送り機能 ----------34
7.タイマー----------35
8.実釣来歴 ----------36
9.その他の便利機能 ----------37,38
いろいろアラーム----------37
アラームON・OFF選択 ----------37
Language(言語)選択 ----------37
単位選択----------38
カウンターランプ----------38
ブレーカー作動表示 ----------38
10.ハンドルノブの取り外し方 ----------39
11.ロッドクランプ取付方法----------40

仕様一覧 ----------41
リール仕様一覧----------41
カウンター部仕様 ----------41

展開図----------42

故障かな?と考える前に----------43

ライン入力方法一覧

このリールは下記の方法で入力できます。

P1 糸長入力 21〜23	巻く糸の全長がわかっている時に便利な方法。
P2 下巻入力 24〜27	下巻きを入れる時の入力方法。ただし、長さのわかる道糸100M以上が必要です。
P3 引出入力 28〜30	道糸を巻き終った状態から引き出して再入力するための方法です。ただし、長さのわかる道糸100M以上が必要です。

この度は、SEAPOWER1200をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。船釣りに便利な機能が多く搭載されているこの電動リールを正しくご使用いただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。またリール同様、この説明書も大切に保存していただきますようお願い申し上げます。

安全上のご注意

電動リールをご使用にあたり注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。取扱説明書および付属のワーニングリストを読まずにご使用されての保証はできません。

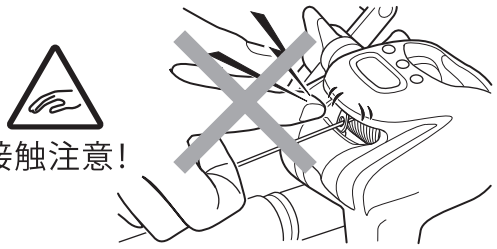
●マークについて

⃠	この記号は「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な禁止内容を表示します。
△	この記号は「注意すべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な注意内容を表示します。
○	この記号は「しなければならないこと」を意味しています。 この記号の中に、具体的な指示内容を表示します。

⚠ 警　告

記載事項を無視して、誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷・障害を負う可能性が想定される内容のご注意。

●糸をスプールに平行巻きにするレベルワインドと本体の間に指をはさまれないようご注意ください。けがをする恐れがあります。



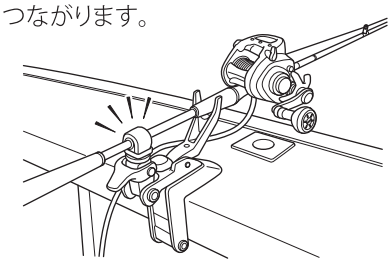
●糸送り（モーター作動）中にクラッチをＯＮにすると糸を巻き込みます。その際は指をはさまれないよう注意してください。けがをする恐れがあります。



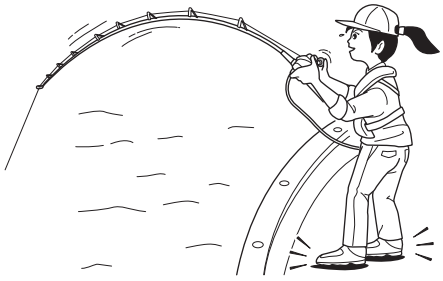
●使用中は目を離さないでください。思わぬ事故・怪我につながります。



●大型電動リール、大物釣りにおいて、ロッドクランプおよびホルダーにきちんと取り付けてください。しっかり固定されていないと思わぬ事故・けがにつながります。



●無理な姿勢で使わないでください。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。



●お子さまが使用する時は、回転部やスキマに手をはさまれないよう、付き添いの保護者の方は十分ご注意ください。

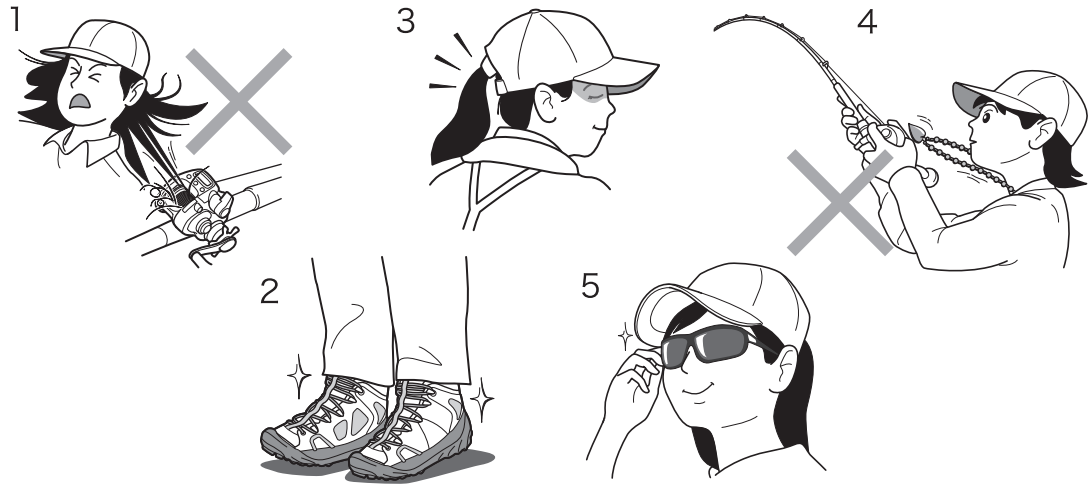


安全上のご注意

⚠ 警　告

記載事項を無視して、誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷・障害を負う可能性が想定される内容のご注意。

●適切な服装・装備で使用してください。回転部に巻き込まれたり、飛散物により重傷・障害を負う可能性があります。
1.髪、衣服、手袋を回転部に近づけないでください。
2.滑りにくい履物を着用してください。
3.長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
4.ネックレスやネクタイ等不意に巻き込まれる恐れのある装身具は着用しないでください。
5.偏光グラス、眼鏡等、目を保護する装備を着用してください。



●幼児の手の届く所では保管、使用はしないでください。リール本体だけではなく、包装品・付属品なども同様です。



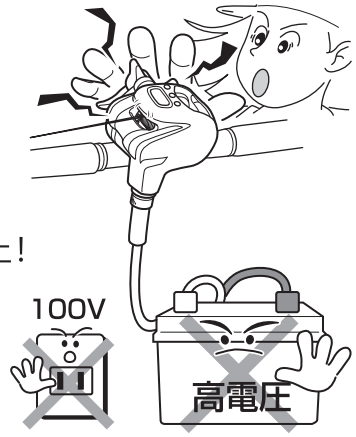
⚠
保管注意！

●電動リールを使用されますと微弱な電波が発生し、補聴器・ペースメーカー等の医療機器が誤作動したりするなど影響を与える場合があります。特に心臓ペースメーカーをご使用されている方が電動リールを使用されますと、動悸、目まいが起こる場合がありますので、本製品のご使用はおやめください。



🚫
使用の禁止！

●バッテリー、船電源などを使用する場合は、所定電圧以外を使用しないでください。所定の電圧以外を使用すると、電動リールが異常発熱し、手をヤケドしたり、ＩＣが故障したりする恐れがあります。家庭用（交流）電源にはつながないでください。回路がショートし発煙・発火する場合があります。



🚫
使用の禁止！

安全上のご注意

⚠ 警　告

記載事項を無視して、誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷・障害を負う可能性が想定される内容のご注意。

●バッテリーを水の様な導電体に浸さないでください。バッテリーがショートし破損・火災・やけどを負う恐れがあります。

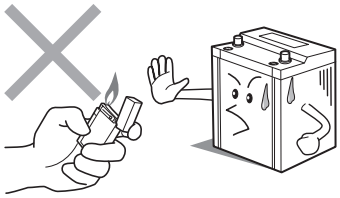


●ハーネスなどで電動リールを体に固定するのはおやめください。大きな魚により、海水へ引き込まれるなど、生命身体に危害が及ぶ恐れがあります。

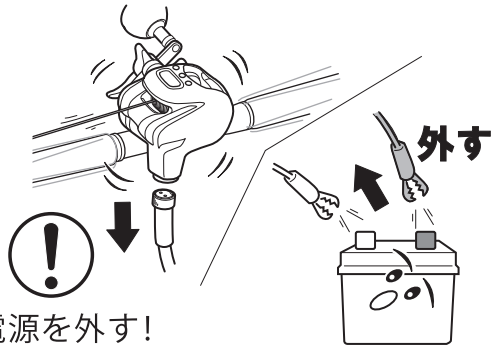


使用の禁止！

●リール・コード・バッテリーを可燃物・引火性物質（液体・ガス・粉塵）に近づけないでください。発火や爆発の原因になります。

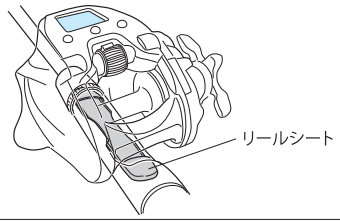


●何らかの異常で釣りの最中にモーターが回り放しになった場合は、指をはさまれない様、注意して、直ちに電源を外してください。

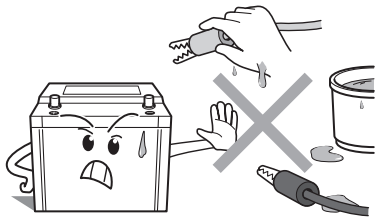


電源を外す！

●電動リールはリールシートにしっかり固定してご使用ください。ガタ付きがある場合や固定できない場合は、ご使用を控えてください。釣行中に外れたりすると、けがを負う恐れがあります。

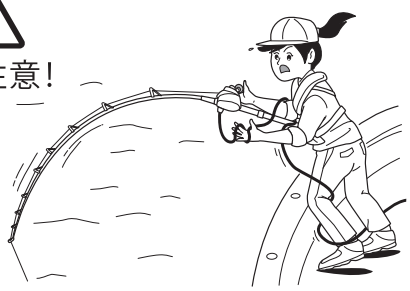


●バッテリーとコードの接続時には濡れた手で接続しないでください。感電する恐れがあります。たとえ天候が雨であっても、一度手をタオル等で拭った上で速やかに接続してください。

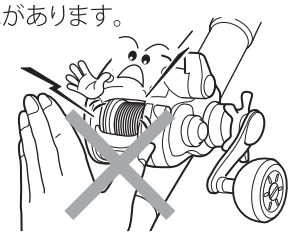


●体に電源コードが巻き付かないように注意してください。状況により海に引きずり込まれる恐れがあります。

取扱注意！



●駆動しているとき、駆動部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。



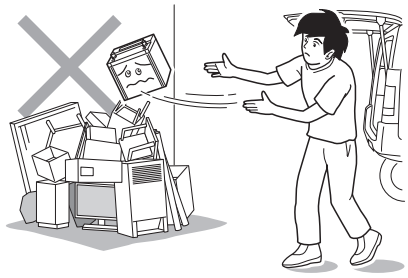
接触禁止！

安全上のご注意

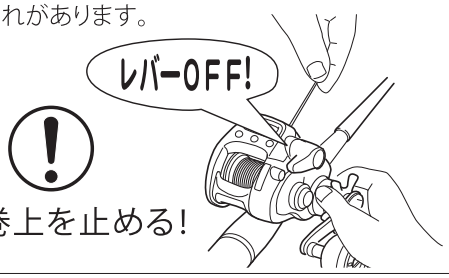
⚠ 警　告

記載事項を無視して、誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷・障害を負う可能性が想定される内容のご注意。

●製品およびバッテリーを廃棄する際は国や各地域のルールに従い廃棄してください。



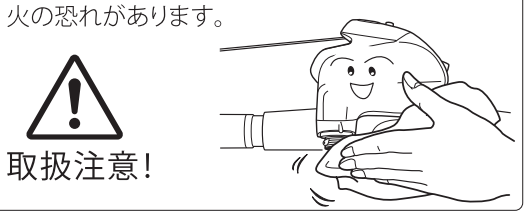
●ドラグ力を設定する際は、必ずその前に、電動自動巻き上げをレバーＯＦＦにしてください。手で糸を引いてセットする場合等で、糸で手を切る恐れがあります。



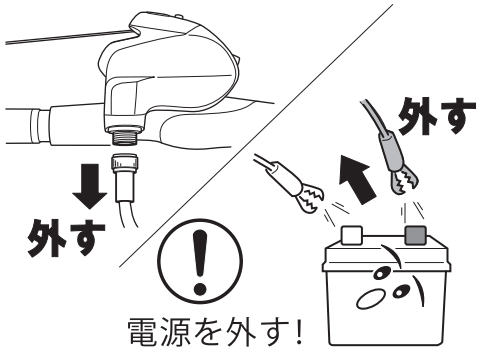
●糸が勢いよく出ているとき、または、糸を巻いているときに、糸をつかまないでください。糸で指を切ることがあります。



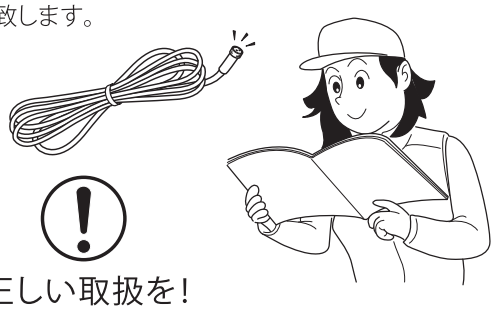
●船上でコードの再接続をするときは、接続部に海水などの水分が付着していることがありますので、乾いた布でよく拭き取ってから、接続してください。
そのまま接続すると、ショートして、感電・発煙・発火の恐れがあります。



●釣りにご使用にならない時は、巻上げレバー及び電源をOFFにしてください。意図しない動作をして、けが等のトラブルになる可能性があります。



●使用状況や保管状況によって、コードが断線、ショートなどの故障を起こし、発煙・発火に至る場合があります。『コード取り扱い上のご注意』、『コードのお手入れのしかた』、『その他お手入れ上のご注意』を必ずお守りください。
なお、コードの手入れは、電源を外してから行ってください。古いコードは断線、ショート等故障の原因となりますので、リールの性能を維持するためにも、2年ないし使用60回での交換をおすすめ致します。



●モーター放熱部には、手を触れない様ご注意ください。高温になる場合があり、やけどの恐れがあります。



安全上のご注意

⚠ 警　告

記載事項を無視して、誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷・障害を負う可能性が想定される内容のご注意。

●分解・改良などはしないでください。リールの性能に不具合が生じたり、故障につながる原因となります。また製品保障の対象外となります。



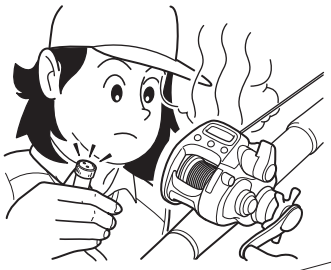
改造の禁止!

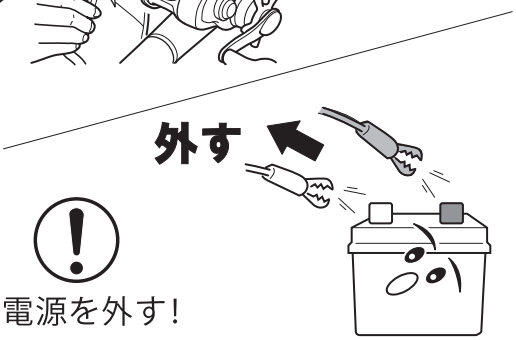
●コードの改造はしないでください。ショートなどの故障を起こし、発煙・発火の恐れがあります。



改造の禁止!

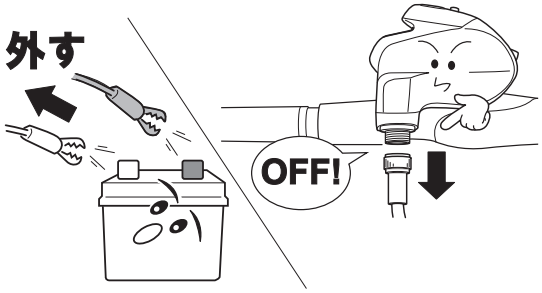
●こげくさい時や漏電など、異常時には直ちに駆動を停止して、電源を外してください。異常発熱や発火・感電などの原因になります。





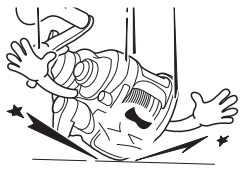
電源を外す!

●電源を外すときは、駆動を停止してから、行ってください。故障の原因になります。
回転中の断電は、火花が発生し、発火・爆発の原因になります。

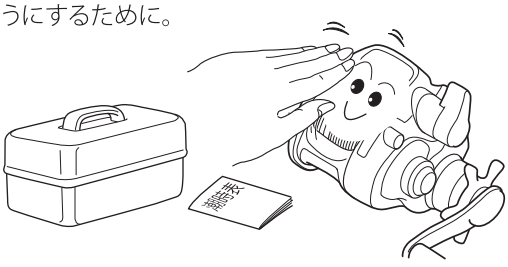


●落下などのショックにより破損あるいは内部電子部品の損傷、クラックによる浸水、基板短絡が生じ機能障害を起こします。強い衝撃や重圧が加わらないようご注意ください。(外観上には異常が見られなくても故障していることがあります。)
また落下により、けがをする恐れがあります。

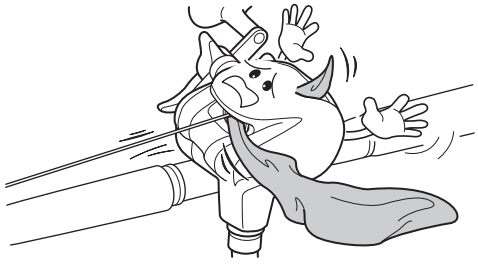
取扱注意!



●釣りにお出かけの前には、リールの点検(動作点検)を行ってください。
故障によって、釣行に支障をきたすことのないようにするために。



●糸巻き中に布・衣服・髪などが巻き込まれないように、ご注意ください。
また、バックラッシュ等によりフケた糸の巻き込みにもご注意ください。



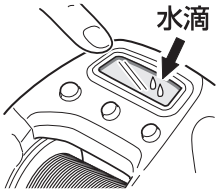
安全上のご注意

⚠ 注　意

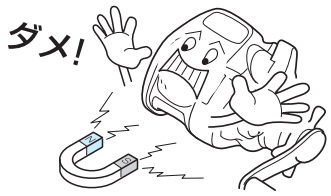
記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

●リールを落としたり、衝撃を与えたりすると、カウンターや本体にヒビや割れ等が発生し、水が浸入することがあります。その状態で使用すると、モーターの制御不能等でけが等に繋がる恐れがありますので、ご使用はおやめいただき、お近くのDAIWA取扱店に持ち込み、修理にお出しください。

使用の禁止！

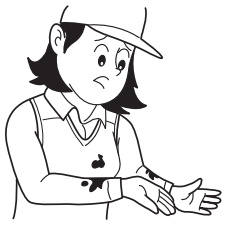


●磁石等磁力のある物は近づけないでください。誤動作や故障の原因になります。



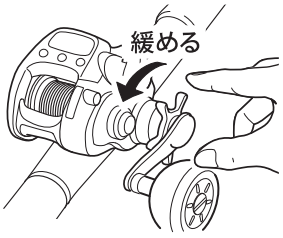
●リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。

取扱注意！



●電源をつなぐ前に、必ずドラグを十分に緩めてから接続してください。
ＩＣ故障時にモーターが回り放しになり、仕掛けを巻き込み、竿を破損する恐れがあります。

取扱の実施！



●屋内で糸を巻くときは、高速で行ってください。
低速・高テンションで長時間かけて糸を巻くと、モーターが異常に発熱し発煙する恐れがあります。
また、電動巻上性能が低下することがあります。

取扱注意！



●他の釣り人と仕掛けが絡んだり、根掛かりしたときは、無理に巻かないでください。
竿その他を破損する恐れがあります。

取扱注意！



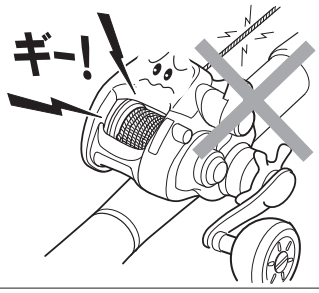
●根掛かりしたときは、竿をあおらず糸を手に取って切るようにしてください。（手袋やタオルで必ず手を保護しましょう。）
太いハリスをご使用になっている場合、手で持って切れそうもないと思われるときは、船長に相談して安全に対処してください。

けがに注意！



●ワイヤーは、道糸として使用しないでください。スプールが腐食したり、破損したりすることがあります。

使用の禁止！



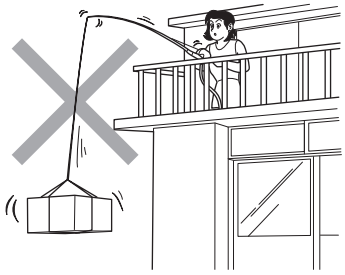
安全上のご注意

⚠ 注　意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

●リールを釣り以外の目的で使用しないでください。

目的以外の使用禁止！

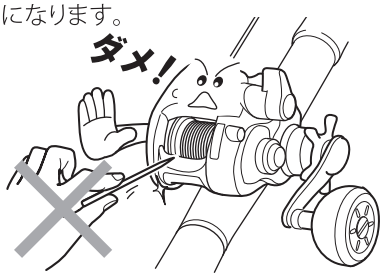


●塗装やメッキなどの表面層あるいは素材の表面が剥れた場合は、その部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。

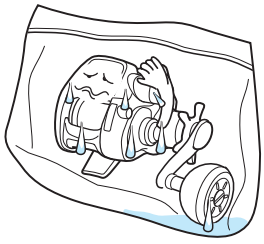
接触禁止！



●スプールとフレームのスキマやその他本体のスキマに棒や金属物などを入れないでください。故障の原因になります。



●濡れたままビニール袋やバッカンなどで、リールを保管しないでください。錆や故障の原因になります。

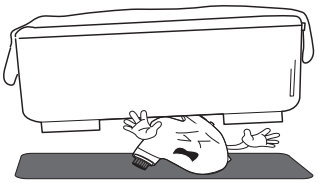


●使用途中で、カウンター表示がずれてきたり、道糸が切れたり、電源が外れたり、大きな張力変動があったりしたときは、カウンター表示の再設定を行ってください。
そのままで再度使用しようとすると、巻き込んで竿その他を破損する恐れがあります。
水面に仕掛けがある位置でのリセットを忘れた場合も同様のことが起こる恐れがあります。

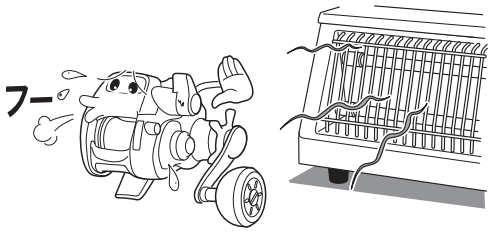
操作の実施！



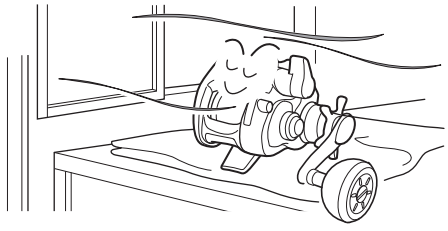
●リールの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。



●発熱器具のそばに置かないでください。樹脂が溶けて変形したり劣化して、故障の原因になります。



●リールを長期間収納するときは、水分を完全に切り、直射日光を避けなるべく通風性のよい場所に保管してください。
また、ドラグを緩めた状態で保管してください。

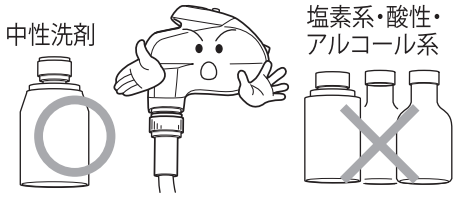


安全上のご注意

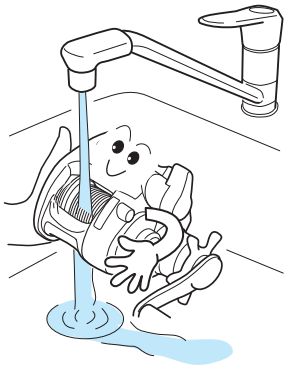
⚠ 注　意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

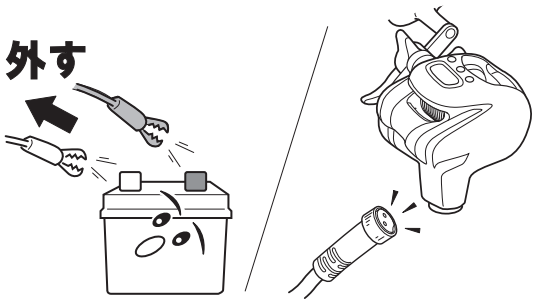
●電動リールを洗剤で洗うときは、中性洗剤を薄めて使用してください。塩素系、酸性及びアルコール系洗剤は使用しないでください。樹脂が劣化して、故障の原因になります。
シンナー、ベンジン、アルコール、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類などの有機溶剤は、本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、ご使用にならないでください。
また、上記が手についたまま本機を扱うこともお止めください。



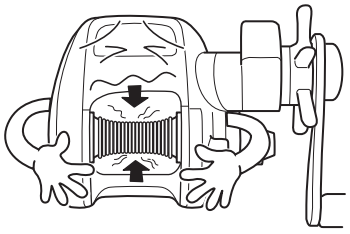
●塩分を含んだ海水で道糸が湿った状態のままで保管するとスプールが腐食する恐れがあります。水道水を糸巻き部にあたるように掛けて海水を十分流してから通気性の良い直射日光のあたらない場所で乾燥させてから保管してください。



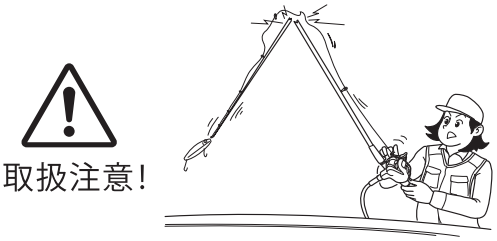
●リールを使用しないときは、電源・コードを外しておいてください。
使用中は目の届く範囲で管理してください。



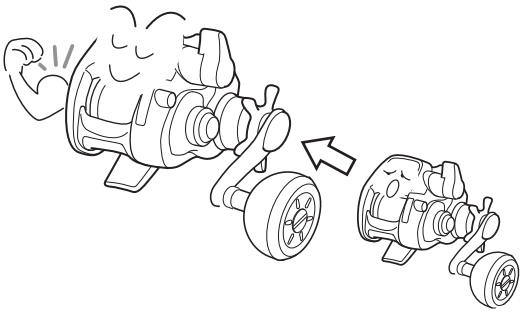
●水気を含んだ糸を強い張力で巻いた状態でリールを保管しないでください。保管時に糸が乾燥すると縮み、スプールを破損する恐れがあります。
特に、PE専用機種には、ナイロン・フロロラインなどを巻かないでください。



●船べり停止位置は巻き上がる張力により変動します。もし船べり停止点を変更した場合は、ゼロリセットの再設定を行ってください。
※船べり停止点設定には余裕を持ってください。ギリギリに設定すると竿を折る可能性があります。



●ブレーカーが何度も作動する場合は、リールサイズが釣り方・ターゲットに合っていませんので、最適なスペックサイズのリールをご使用ください。



安全上のご注意

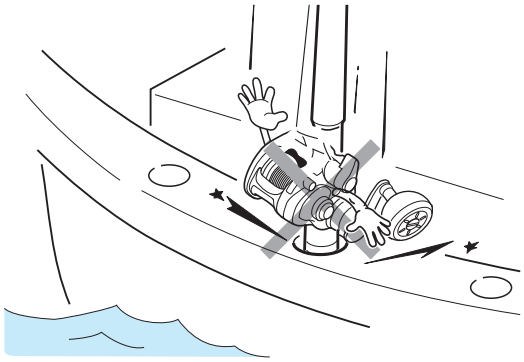
⚠ 注　意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

●振り出しロッドを仕舞い込む際に、リールをつけたまま竿尻を床面等にトントン叩いて仕舞わないでください。リールが破損する恐れがあります。



●船べりの穴へ竿にリールをつけたまま入れる場合は、船べりにリールが直接当らないか確認してください。当る場合は、穴へ入れることはおやめください。リールを破損する恐れがあります。



※弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保障できません。また、弊社純正部品以外の部品が取り付けられたままでの修理は場合によってはお断りさせて頂くことがございますのであらかじめご了承ください。

※製品改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

◆カウンター部について

① 真冬（カウンターの表面温度－10℃以下）および真夏（カウンターの表面温度60℃以上）
※上記の場合には、液晶の特性上文字が見にくくなることがございます。ご了承ください。

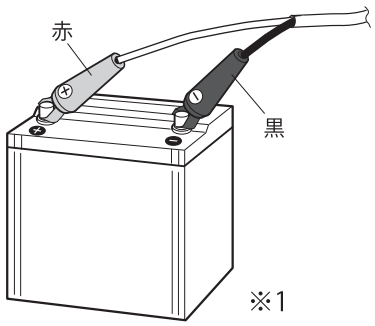
② 早朝や夕方など太陽光の入射角によって液晶表示の影が見えることがありますが異常ではありません。

登録商標： DAIWA登録商標を取得した製品です。類似品にご注意ください。また偽装品の製造・販売は各国の法律により罰せられます。

電源について

●電源とのつなぎ方

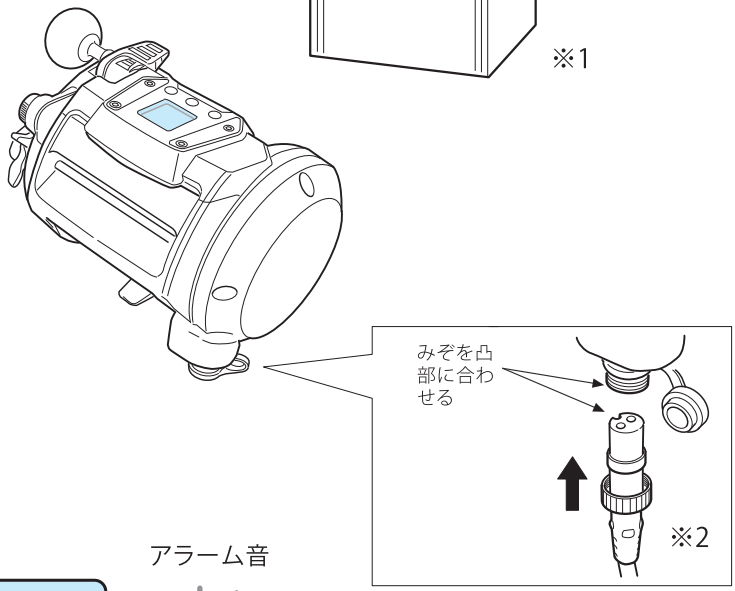
1.まず、コードのクリップ（2つ）と電源をつないでください。
クリップは赤いカバーのほうがプラス ⊕ 、黒いカバーのほうがマイナス ⊖ です。



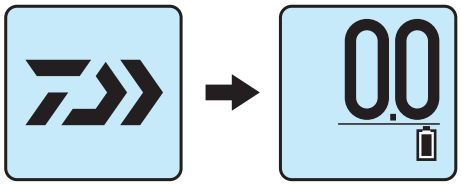
※1

2.次に、付属コードのコネクターとリール本体をつないでください。

※以上の手順が正しく行なわれると、下図のように表示変化したうえで、セットされます。



アラーム音
ピー!



（電源投入画面）　（水深画面）

警告

※1：±を逆に接続すると通電しません。またバッテリーおよび本体・コードが破損する恐れがありますのでご注意ください。
※水や海水など濡れた手で電源の接続はしないでください。感電する可能性があります。天候が雨の場合には、ゴム手袋を着用して接続作業をしてください。
※2：誤った接続をすると通電しません。またコードがショートし破損の原因となりますのでご注意ください。
*可燃物・引火性物質を電源及びﾘｰﾙの近くに設置しないこと。火災の原因になります。

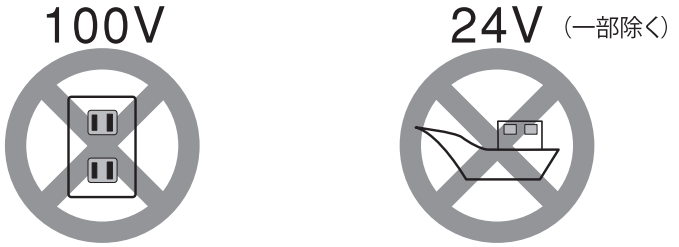
注意

・1度電源につなぐと、メモリーバックアップ（カウンター情報の保存）機能が働くため（最低15分間）、その後の電源との再接続時には、上記の表示変化がされないでセットが完了するケースがありますが、問題はありません。

電源について

●電源について

このリールは直流（DC）12V～16.8V対応の電動リールです。指定外の電源（たとえば、家庭用の交流（AC）100V、船装備の直流24Vなど　※一部24V対応機種除く）では使用できません。
なお、船電源は、発電機や配線の関係で電圧が不安定になりやすく、リールの保護回路が働いて回転が停止したり、断続的になってしまうことがあります。リールの性能を充分に発揮させるためにも、電動リール専用バッテリーをご使用ください。



⚠警告

1.バッテリー側の原因による故障・損害は補償しません。
※ダイワの電動リールに使えると表現している電池がありますが、ダイワはその製品規格・安全性その他に一切かかわっておらず、ダイワは使用をお薦めしません。もしご使用になってなんらかの事故・損害その他が発生してもダイワは一切責任を負いません。どうしてもご使用になる場合は自己責任でお使いください。また特にリチウム電池については大きな事故を引き起こす可能性が高いため、特にご注意ください。
2.船電源を使う場合、船側に損害が生じる場合があります。
※船電源を使う場合はエンジン切った状態で容量を使い切らないこと。
※エンジンが始動せず遭難します。
3.このリールは直流（DC）12～16.8V駆動です。
※マリンパワー3000-24Vのみ24V駆動です。もしこれよりも高い電圧、もしくは家庭用電源を接続すると電動リールの電子回路に損傷を与え、モーター制御不能になります。煙の発生や火災につながりますので、電源環境やその仕様については必ずご確認ください。

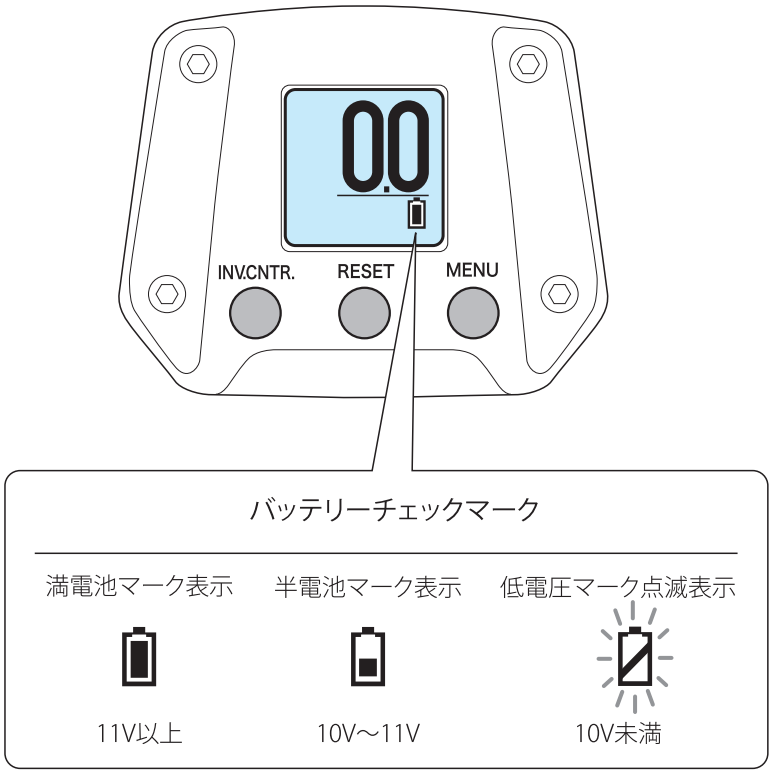
⚠注意

1.指定電源以外は使用不可
電源は防水性の確保されたマリン用DEEPCYCLEバッテリーを推奨します。
また、指定のリチウム電源（販売国）のみ対応可。
※お近くのDAIWA取り扱い店に問い合わせください。
2.家庭用電源・船親電源から直接つないで使用すると破損の恐れがあります。
3.バッテリーは、長時間放置されると自然放電（残量低下）している可能性があります。釣行前には、必ず充電を行なってください。
4.船の電源は、電圧、接続端子の形状などにより使用できないことがあります。事前にご確認することをおすすめします。
・端子のサビなどによりリールが正常に作動しない場合があります。サビなどは取り除いてご使用ください。
5.正しい電圧出力のバッテリーを使用してください。低電圧時に高負荷の巻上げを行うと、電子部品にダメージを与える可能性があります。

電源について

●バッテリーチェック表示について

通電時に、電源電圧が低下すると、下記のようなバッテリーチェックマークが表示されます。
10V以下では巻き上げ出力が制限され、最大限発揮できないことがあります。
モーター回転がストップしているときにこの表示が点滅している場合、バッテリー残量の減少による電圧低下が考えられます。そのときには、バッテリーを充電したものと交換してください。（船電源をご使用の場合は、電源の電圧や端子をチェックしてください。）



※リールの検知電圧は、実際の電源電圧と多少誤差がある場合があります。
※バッテリーが切れカウンター表示が消えた状態で（魚とのやりとり等で）手巻きで糸を巻くと水深カウンターが狂い、次のバッテリーで電動巻上げした時に糸を巻き込み、竿先を折る可能性がありますのでおやめください。カウンターが消えたら、そのままの状態でバッテリーを交換してください。

⚠注意

●バッテリー残量不足の表示が出た場合は、電動巻上げやIC機能等に不具合が起こりますので、十分に充電されたバッテリーと交換してください。

お手入れ方法

●リールのお手入れについて

このリールは水洗いできる「洗える電動リール」です。釣りが終わった後で汚れなどをきれいに洗い流してください。

●お手入れ方法

1.中性洗剤を含ませた、柔らかいスポンジなどでリール本体を洗い、汚れを落とします。

※汚れがひどい場合に使う洗剤は、中性洗剤のみを薄めて使用してください。

※使用量目安：水1ℓに対して1.5mℓ。

液体（薬用）石鹸など石鹸類及び弱アルカリ性など中性以外の洗剤のご使用はおやめください。故障の原因になることがあります。

2.水をかけて洗剤と汚れをよく落としてください。スプール部にもよく水をかけて塩分を落としてください。

給湯器をご使用の際は、温度設定を30℃以下としてください。

3.よく水を切り、陰干ししてください。

※保管の際は、ドラグを緩めてください。

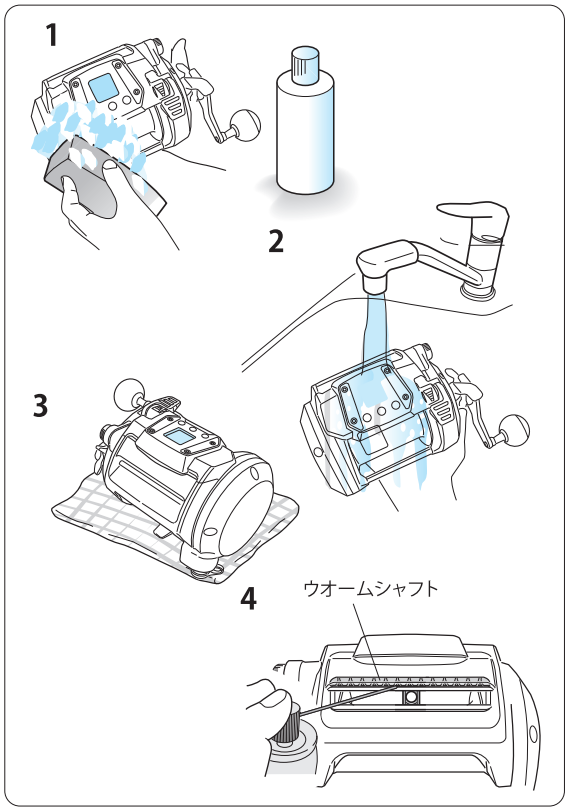
※ハンドルノブ内部には水がたまりやすいため、特に注意して水切りをしてください。

4.注油してください。

ウォームシャフト部へシュッとひと吹き注油します。

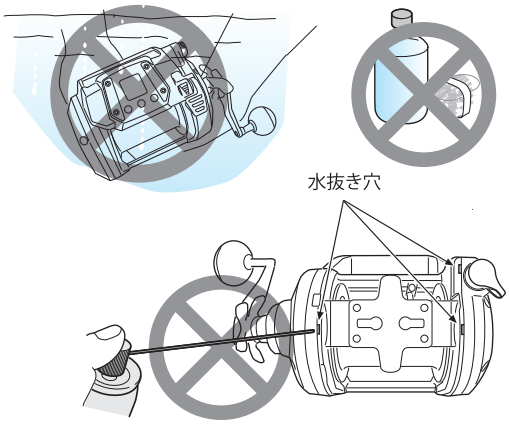
専用スプレーは釣具店にてお取り寄せください。

※液晶画面周辺への注油はしないでください。電装部の故障につながります。



⚠注意

- 海水で洗ったり、水の中につけて洗うことは絶対にしないでください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- リール本体に傷が付きますので、みがき粉、タワシ、スチールタワシなどは絶対に使用しないでください。
- 注油したオイルがはね返り噴き出す可能性もあるので、のぞき込まないでください。
- 水抜き穴への注油は、絶対にしないでください。
- 本体に磁力を近づけないでください。
- ICカウンター周辺への注油はしないでください。電装部の故障につながります。



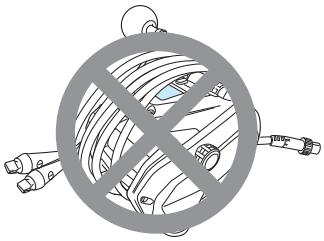
お手入れ方法

●コード取扱い上のご注意

コードの断線等によるトラブルをさけるために必ず守ってください。
付属の専用コードをご使用ください。
※他のコードとは互換性がありませんのでご注意ください。
※コードを改造することはおやめください。思わぬ故障の原因となります。コードは大切にしてください。



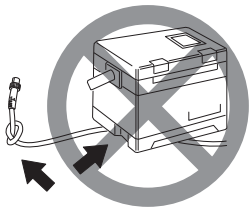
・コードを持ってリールをぶらさげることは、おやめください。



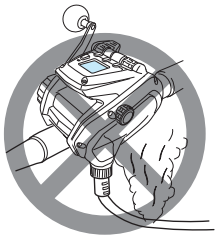
・リール本体にコードを差し込んだまま本体にぐるぐる巻き付けることは、おやめください。



・コードを水洗いすることは、おやめください。



・コードの上に重い物を乗せたり、コードを結んでしまうような行為は、おやめください。



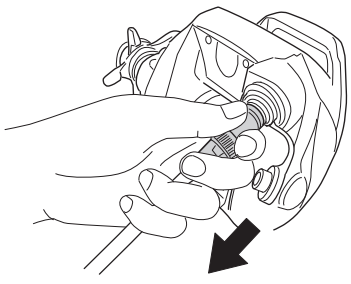
・煙や異臭などの異常が発生した場合、ただちに使用を中止し、バッテリーから外してください。



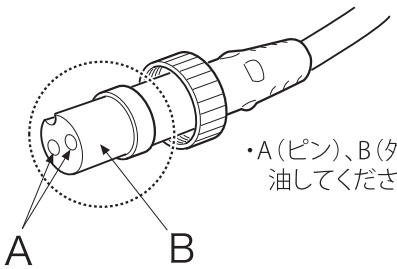
・ご使用の際、コードを足で踏んだり、荷物などに引っ掛かったままアワセ動作などで強く引っ張ると、外観に異常は無くても内部の電線が切れる可能性があります。

●コードのお手入れのしかた

・ご使用後は、水道水または温湯で浸した柔らかい布で、外観部の汚れを拭き取り、よく乾かしてください。
・特に、ワニグチクリップは、カバーを外して、完全に乾かしてください。
・乾燥後は、コネクター部の注油を行なってください。
＊専用グリスは釣具店にてお取り寄せください。
・リールのコードは、本体から外して保管してください。



・コードを抜くときは、必ずコネクター部を持って抜いてください。

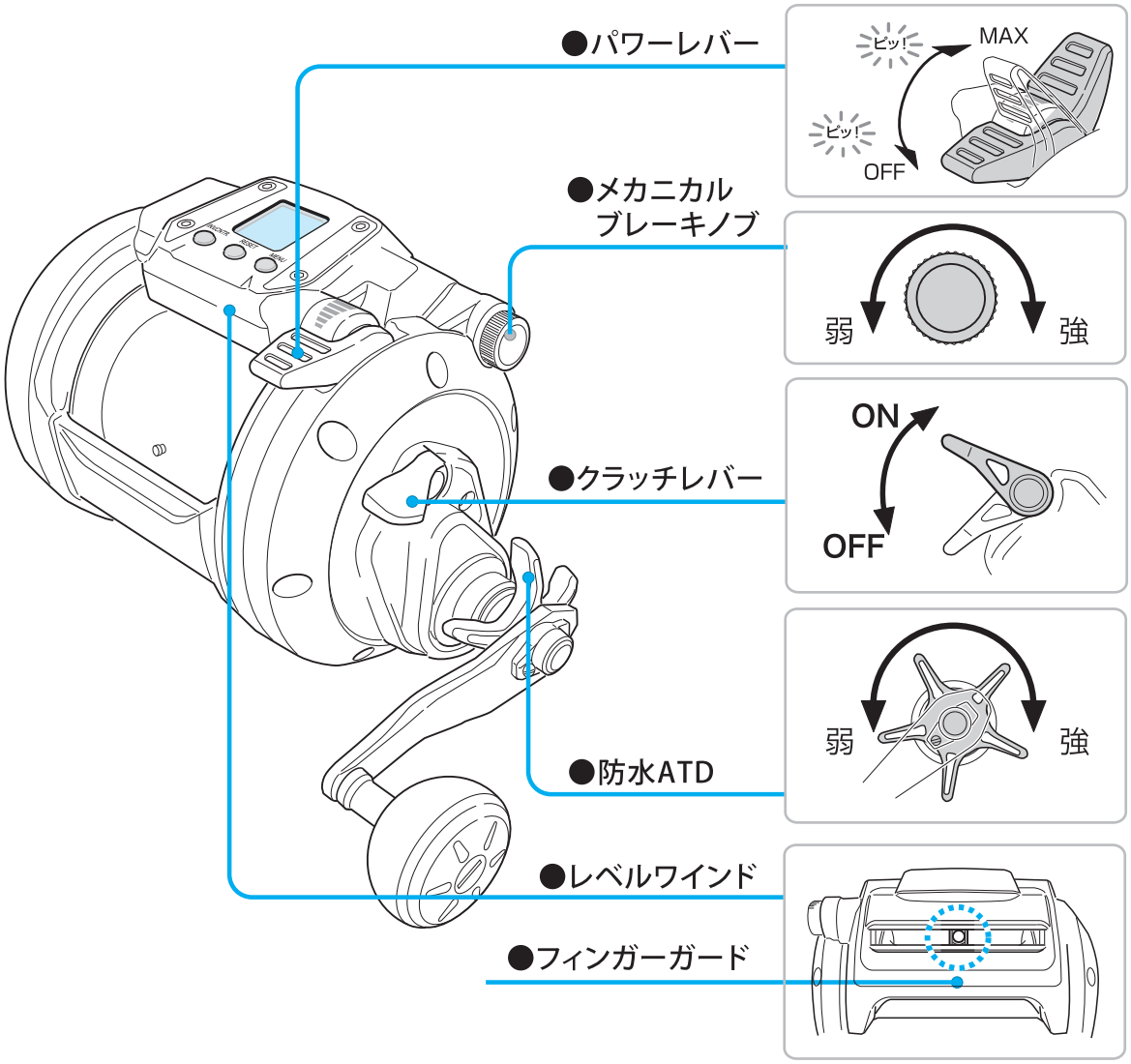


・A（ピン）、B（外周部）に注油してください。

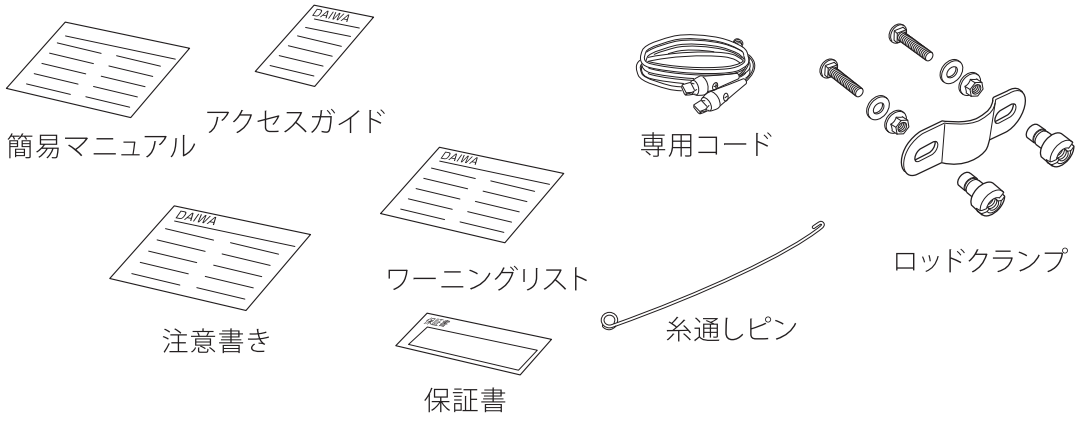
●その他お手入れ上のご注意

・このリールは電気回路、モーターなどの精密な部品を内蔵しておりますので、お客さまご自身での分解組み立ては極めて困難です。おやめください。
・コネクター部保護のため、リールをご使用にならないときは防護用コネクターキャップでフタをしてください。
・古いコードは断線、ショート等故障の原因となりますので、リールの性能を維持するためにも、2年ないし使用60回での交換をおすすめ致します。

各部の名称と機能



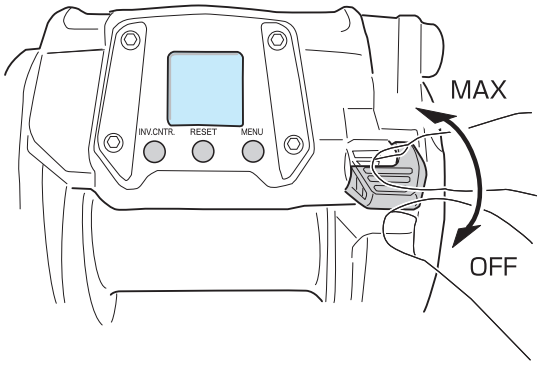
●付属品



各部の名称と機能

●パワーレバー

・レバーは、親指と人指し指でつまんで操作ができます。



・レバー操作により巻上げ出力（パワー/スピード）をOFF～MAXまで自由自在に変速させることができます。
・レバーを前（MAX側）に倒すと、出力がアップします。
レバーを元（OFF側）に戻せば、出力がダウンします。
・巻上げを開始するとき、レバーがOFFの位置にないときは、レバーを一度OFFの位置まで戻して（OFFの位置でアラームが鳴ります）から、レバーを前に倒して巻上げを開始してください。
・船べり停止位置付近では、安全のためレバー操作がきかない場合があります。
・巻き上げ負荷の変動等で、レバーの設定表示が上下する時がありますが、異常ではありません。

●防水ATD　※ドラグノブクリック付き

・スタードラグの締め付けを調節することにより、魚の急激な引きに対応し、スプールが空転して糸切れを防ぐ機構です。
1.リールをロッドにセットし、ラインをロッドのガイドに通してから調節してください。
2.クラッチONの状態で、手で糸を引き出しながらドラグの締め付けを調節します。通常は、糸（ハリス）が切れる寸前にスプールが空転するように調節します。

●クラッチレバー

・クラッチONの時、レバーを押すとクラッチがOFFになります。

●メカニカルブレーキノブ

・仕掛けの落下スピードを調節し、バックラッシュを防止します。船の揺れやしかけの重さなどにより、締め付け具合を調節してください。

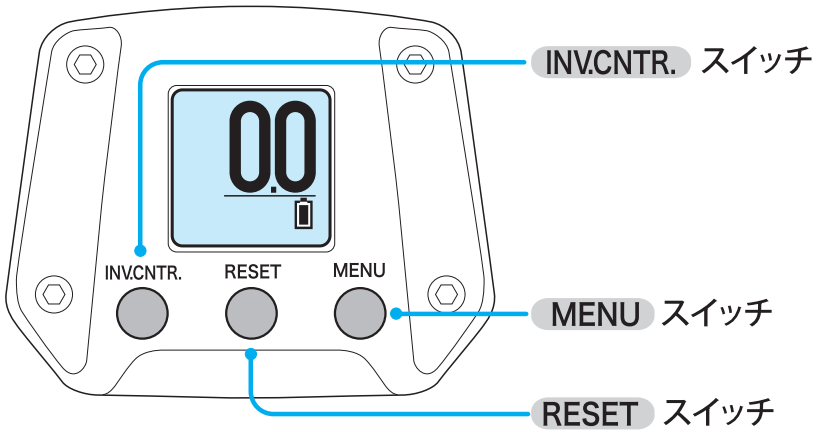
●レベルワインド

・ガイドに糸を通します。糸がスプールに平行に巻けます。
※糸を巻く際の条件により、スプールへの糸巻き状態に若干の片寄りが見られる場合があります。

●付属品

・専用コード
・ロッドクランプ
・注意書き
・アクセスガイド
・ワーニングリスト
・保証書
・簡易マニュアル
・糸通しピン
レベルワインドに糸を通すときに使います。（糸通しピンは、付属品としてビニール袋に入っています）

スイッチの名称と働き



●RESET

・釣りを始める前に必ず一度 RESET スイッチ を押してください。
スイッチを押した点を基準に船べり停止点が設定されます。
・長押しで糸切れ時のデータ修正ができます。

●MENU

・各種便利機能の設定となります。

●INV.CNTR.

・底からカウンターのリセットに使用します。
・長押しで船べり停止点の設定ができます。
・メニュー内では EXIT スイッチ となります。

はじめに

最初に電源に接続して言語を選択します。

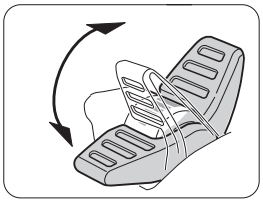
1.リールを通電させてください。

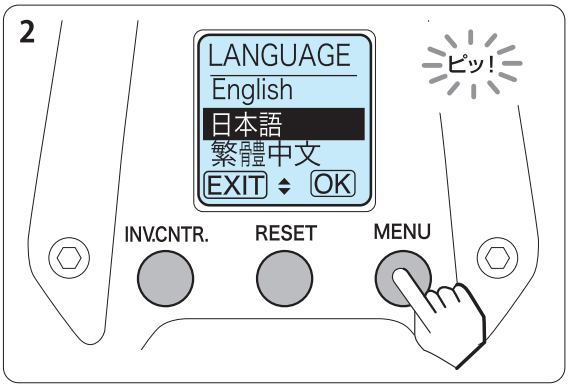
※接続方法についてはP.10「電源のつなぎ方」を参照ください。



（電源投入画面）

2.パワーレバーで言語を選択し、
OK（ MENU スイッチ）を押します。





3. 選択した言語で問題無いか確認して
OK（ MENU スイッチ）を押します。



4.水深画面に移行して設定完了です。



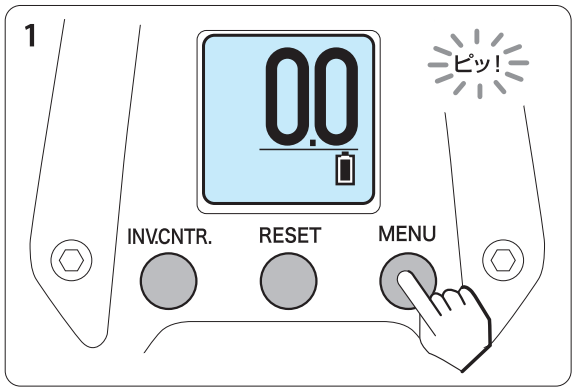
注意：
初回に設定した言語と単位は後からでもMENU画面内で変更できます。
※詳細はP.37「言語選択」を参照してください。

機能設定の基本操作「1.メニュー画面の使い方」

●便利機能の設定のしかた

・メニューの中には便利な機能が満載されています。
※セットした機能は、次の釣行もメモリーされています。
（設定直後に電源を切った場合、メモリーされない場合があります。）

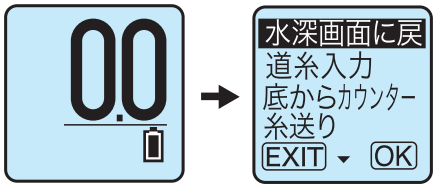
1.表示が 0.0 のときに MENU スイッチを押してください。



（水深画面）

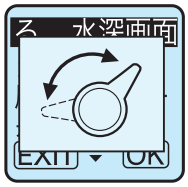
MENU スイッチを押す

2.パワーレバーで各機能を選択し OK（ MENU スイッチ）を押して、各種設定を行います。

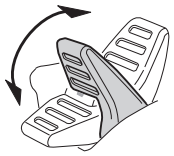


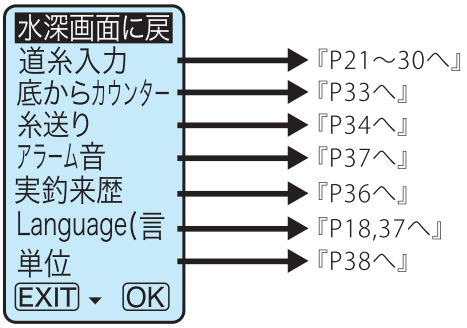
（水深画面）　（メニュー画面）

※しばらく操作をしないと右図のパワーレバー画面が点灯します。
※各機能の詳しい設定方法は、下記のページをご確認ください。



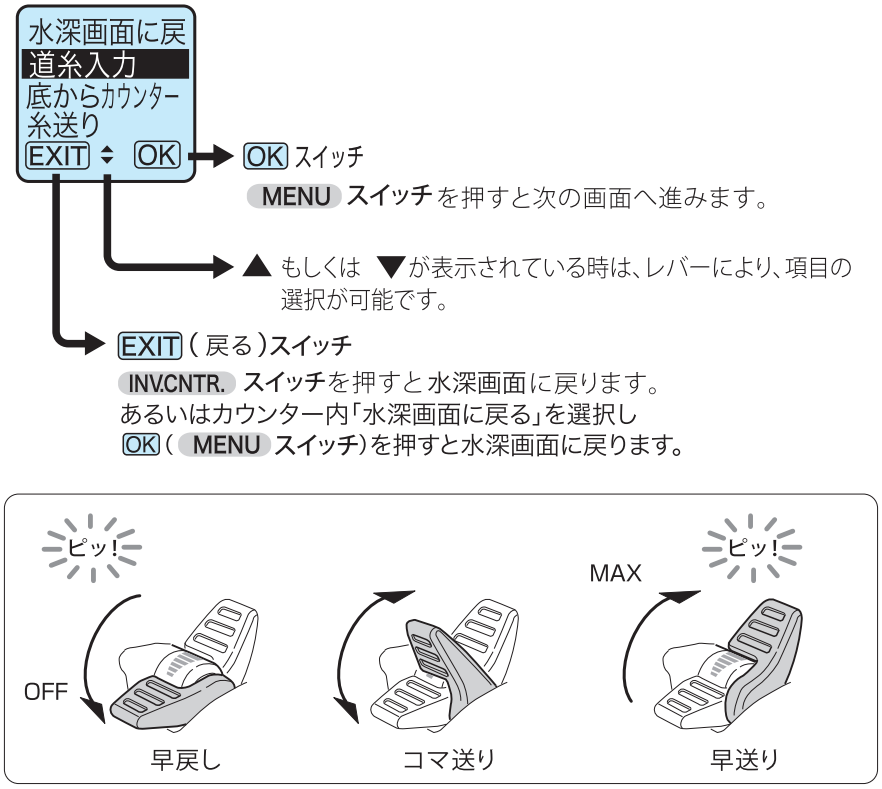
パワーレバーでメニューを選択





機能設定の基本操作「1.メニュー画面の使い方」

■メニューの操作方法



3.設定が終了したら、水深画面へ戻り釣りを始めてください。

機能設定の基本操作「2.道糸入力」 P1 糸長入力

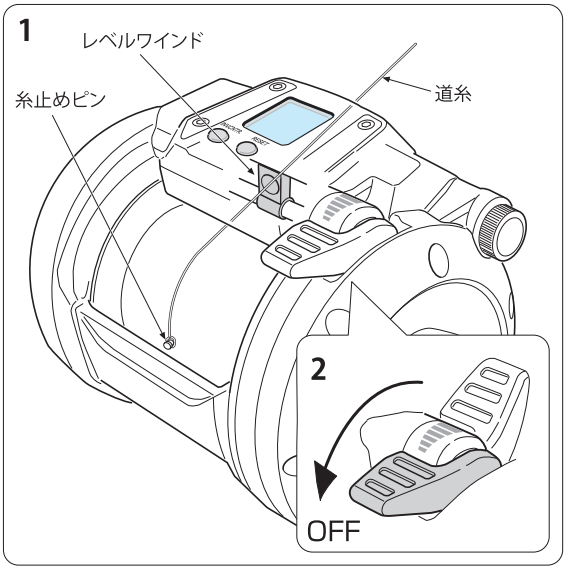
リールに巻く糸の長さがわかっている時に便利な方法です。
（PE8号-1000mを巻いて入力することを例にしてご説明します。）

⚠ やけどに注意！

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームおよびスプールが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1.道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピンを使うと簡単に通せます。
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。
※ドラグを締め付けてください。



2.パワーレバーをOFFまで戻します。

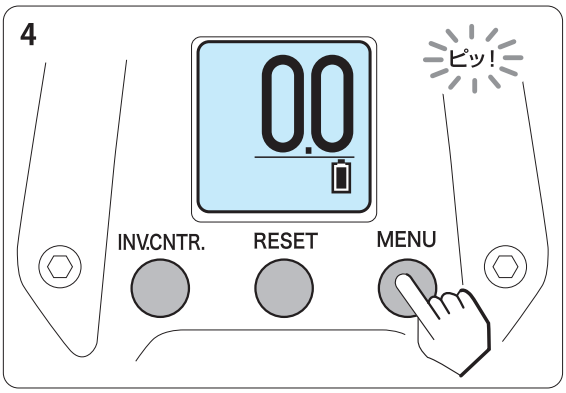
3.リールを通電させてください。

※接続方法についてはP.10「電源とのつなぎ方」を参照ください。



（電源投入画面）

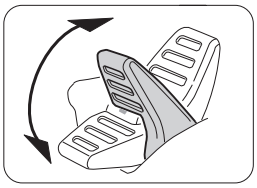
4.表示が 0.0 のときに MENU スイッチを押してください。



（水深画面）

機能設定の基本操作「2.道糸入力」 P1 糸長入力

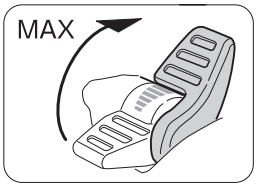
5.パワーレバーで「道糸入力」を選択し
OK（ MENU スイッチ）を押します。



※パワーレバーを動かすことで選択項目が反転表示されます。
※《実行しますか?》が流れ文字として表示されるので、ふたたび OK（ MENU スイッチ）を押します。

6.「糸長 P1」を選択し OK（ MENU スイッチ）
を押します。

7.テンションを調整して、パワーレバーをMAX
の位置まで倒し道糸を巻きます。



※巻上中、▼がなるべく画面中央にくるようにテンションを調整してください。

5



（メニュー画面）



6



（道糸入力画面）

7



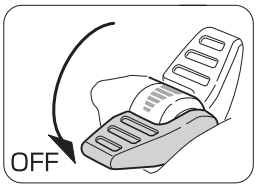
（張力ﾒｰﾀｰ画面）

注意

・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。
糸があたらないようにご注意ください。
・屋内で低速・高テンションで長時間かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

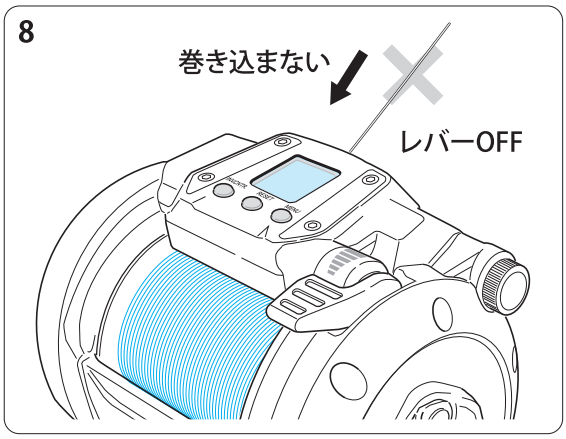
機能設定の基本操作「2.道糸入力」 P1 糸長入力

8.巻き終えたらパワーレバーをOFF位置まで戻し OK（ MENU スイッチ）を押します。



ピッ!

8

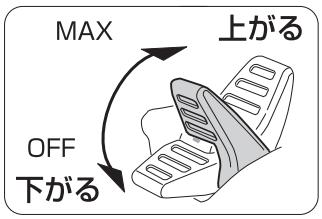


注意

- 糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで残りのラインを巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- この入力方法はPE4号未満の細糸は入力することができません。
- PE6号未満の細糸を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間に糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

9.パワーレバーで、道糸の長さを選択し、OK（ MENU スイッチ）を押します。

※図は、1000mにセットした場合です。
※初期設定値は、500mです。
※セットする数値は、10m単位です。



9



10.入力完了画面が表示されたら OK（ MENU スイッチ）を押し、水深画面へ戻り、入力を終了します。

10



※入力エラー画面が表示された場合は、OK（ MENU スイッチ）を押し、メニュー画面へ戻り、最初からやり直してください。



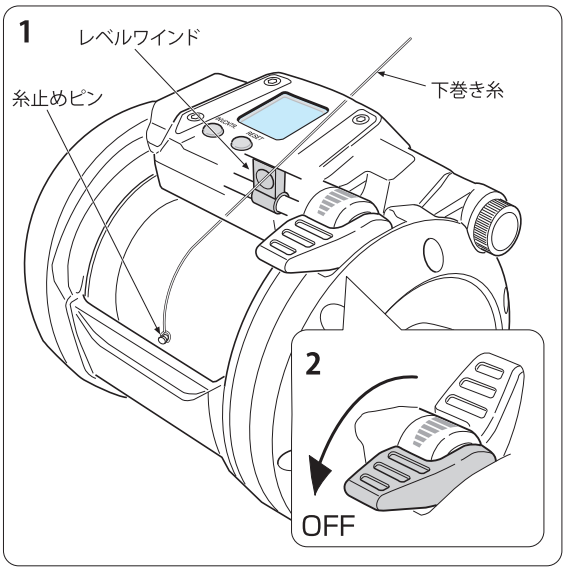
機能設定の基本操作「2.道糸入力」 P2 下巻入力

長さのわかる道糸が100m以上必要です。

⚠ やけどに注意!	道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームおよびスプールが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1.下巻用の糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピンを使うと簡単に通せます。
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。
※ドラグを締め付けてください。
※既に下巻が完了している場合は、そのまま次へ進んでください。



2.パワーレバーをOFFまで戻します。

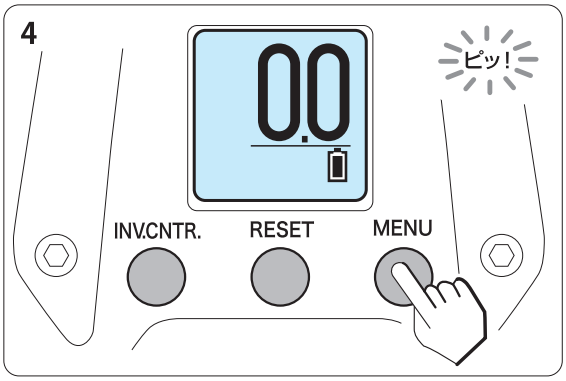
3.リールを通電させてください。

※接続方法についてはP.10「電源とのつなぎ方」を参照ください。



（電源投入画面）

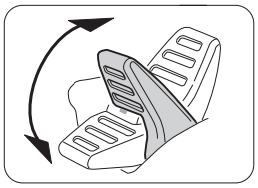
4.表示が 0.0 のときに MENU スイッチ を押してください。



（水深画面）

機能設定の基本操作「2.道糸入力」 P2 下巻入力

5.パワーレバーで「道糸入力」を選択し
OK（ MENU スイッチ）を押します。



※パワーレバーを動かすことで選択項目が反転表示されます。

※《実行しますか?》が流れ文字として表示されるので、ふたたび OK（ MENU スイッチ）を押します。

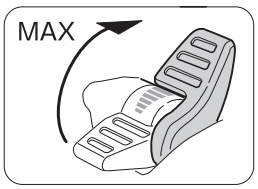
6.「下巻 P2」を選択し OK（ MENU スイッチ）
を押します。

7.下巻用の糸を巻き、巻き終えたら
OK（ MENU スイッチ）を押します。

※既に下巻が完了している場合は、そのまま
OK（ MENU スイッチ）を押します。

8.上糸をしっかり結びます。

9.テンションを調整して、パワーレバーをMAX
の位置まで倒し、糸色に注意しながら残り
100mになるまで道糸を巻きます。



※巻上中、▼ がなるべく画面中央にくるようにテンションを調整してください。

5



（メニュー画面）



6



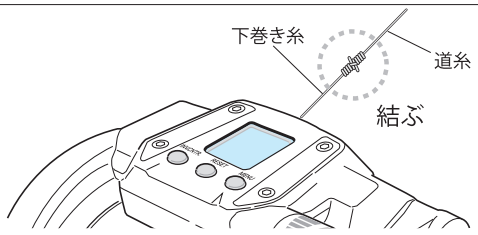
（下巻入力画面）

7



（下巻巻上画面）

8



9



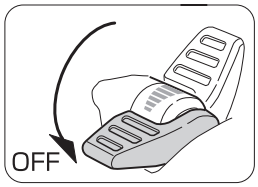
（道糸巻上画面）

機能設定の基本操作「2.道糸入力」 P2 下巻入力

注意

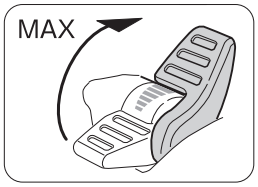
・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。
糸があたらないようにご注意ください。
・屋内で低速・高テンションで長時間かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

10.巻き終えたらパワーレバーをOFFの位置まで戻し OK（ MENU スイッチ）を押します。





11.テンションを調整して、パワーレバーをMAXの位置まで倒し、糸色に注意しながら50m道糸を巻いてください。



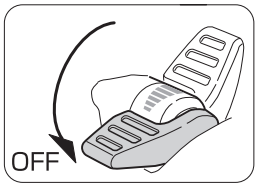
※巻上中、▼ がなるべく画面中央にくるようにテンションを調整してください。

11



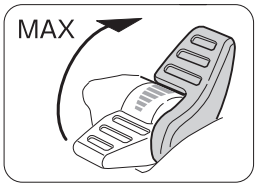
（道糸巻上画面）

12.巻き終えたらパワーレバーをOFFの位置まで戻し OK（ MENU スイッチ）を押します。



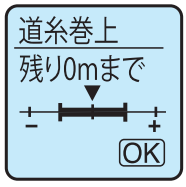


13.テンションを調整して、パワーレバーをMAXの位置まで倒し、糸色に注意しながら最後まで道糸を巻いてください。



※巻上中、▼ がなるべく画面中央にくるようにテンションを調整してください。

13



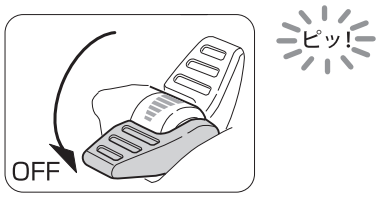
（道糸巻上画面）

機能設定の基本操作「2.道糸入力」 P2 下巻入力

注意

・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで残りのラインを巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
・この入力方法はPE4号未満の細糸は入力することができません。
・PE6号未満の細糸を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間に糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

14.巻き終えたらパワーレバーをOFFの位置まで戻しOK（MENUスイッチ）を押します。



15.入力完了画面が表示されたらOK（MENUスイッチ）を押し、水深画面へ戻り、入力を終了します。

15



※入力エラー画面が表示された場合は、
OK（MENUスイッチ)を押し、メニュー画面へ戻り、最初からやり直してください。

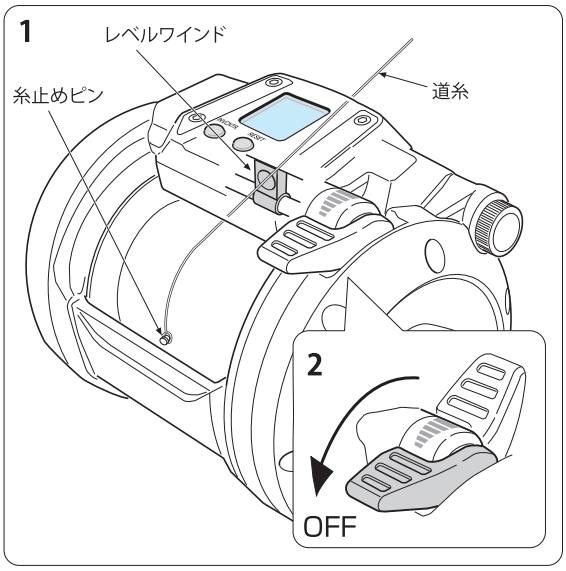


機能設定の基本操作「2.道糸入力」 P3 引出入力

道糸を巻き終わった状態から引き出して再入力する時に便利な方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1.道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピンを使うと簡単に通せます。
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。
※ドラグを締め付けてください。



2.パワーレバーをOFFまで戻します。

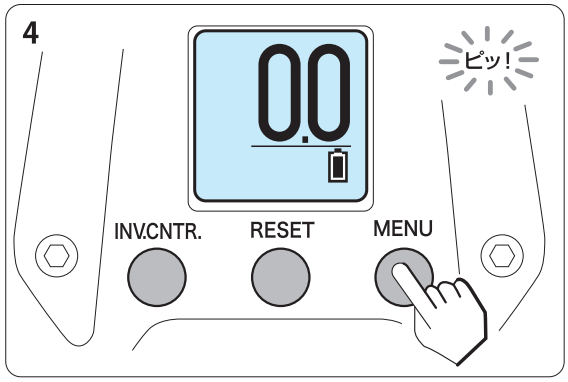
3.リールを通電させてください。

※接続方法についてはP.10「電源とのつなぎ方」を参照ください。



（電源投入画面）

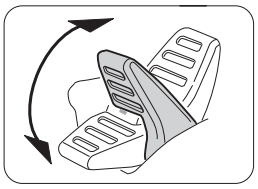
4.表示が 0.0 のときに MENU スイッチを押してください。



（水深画面）

機能設定の基本操作「2.道糸入力」 P3 引出入力

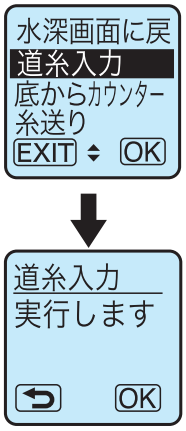
5.パワーレバーで「道糸入力」を選択し
OK（ MENU スイッチ）を押します。



※パワーレバーを動かすことで選択項目が反転表示されます。

※《実行しますか?》が流れ文字として表示されるので、ふたたび OK（ MENU スイッチ）を押します。

5



（メニュー画面）

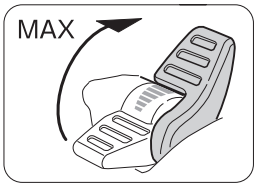
6. 「引出 P3」を選択し OK（ MENU スイッチ）を押します。

6



（道糸入力画面）

7.テンションを調整して、パワーレバーをMAXの位置まで倒し道糸を巻きます。



※巻上中、▼がなるべく画面中央にくるようにテンションを調整してください。

※既に道糸巻上が完了している場合は、そのまま OK（ MENU スイッチ）を押します。

7



（張力ﾒｰﾀｰ画面）

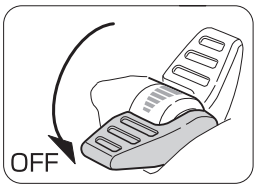
注意

・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。

・屋内で低速・高テンションで長時間かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

機能設定の基本操作「2.道糸入力」 P3 引出入力

8.巻き終えたらパワーレバーをOFFの位置まで
戻しOK（ MENU スイッチ）
を押します。





9.糸色に注意しながら50m引き出して、
OK（ MENU スイッチ）を押します。

9



（道糸引出画面）

10.糸色に注意しながら50m引き出して、
OK（ MENU スイッチ）を押します。

10



（道糸引出画面）

11.入力完了画面が表示されたら
OK（ MENU スイッチ）を押し、水深画面へ戻り、引出した糸を巻き取って完了です。

11



※入力エラー画面が表示された場合は、
OK（ MENU スイッチ）を押し、メニュー画面へ戻り、
最初からやり直してください。



注意

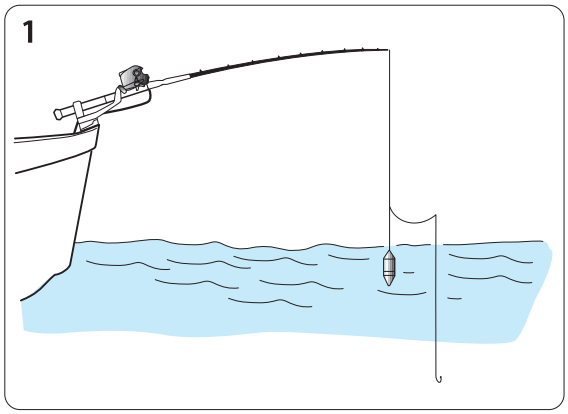
- 糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで残りのラインを巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- この入力方法はPE4号未満の細糸は入力することができません。
- PE6号未満の細糸を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間に糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

機能設定の基本操作「3.釣りを始める前に」

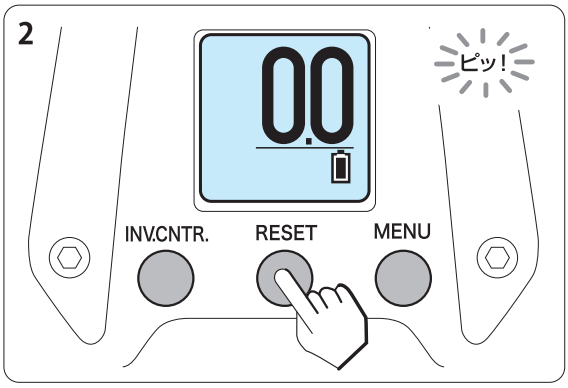
●水面ゼロ設定

釣りを始める前に必ず行ってください。正確な棚取りが行えます。

1.コードをつなぎ、糸を出し、仕掛けをセットします。



2.竿を出し、仕掛けが水面にある時に
RESET スイッチを押します。



表示が 0.0 mになり"ピー"と鳴ったらセット完了です。
電動巻上の際、船べり2m手前で自動停止するようになります。
※水面ゼロ設定をしていない場合は、安全のため、船べり5mで自動停止します。

※船べり停止後は、誤操作による竿巻き込み防止のためパワーレバーでは巻き上げしません。

⚠注意

- 新しい糸を巻いたときや、大物を掛けたときは糸の伸びにより船べり停止位置がずれることがあります。そのときは再度水面0セットを行なってください。
- 船のゆれやオモリの号数によっては、停止位置が多少オーバーランすることがあります。その時は、設定値を増加させてご使用ください。
- 水深100m以上で負荷の変動が大きい時は、停止位置のズレにより仕掛けを巻き込み、ロッドを破損する恐れがあります。このような釣りの際は、船べり停止位置を余裕を持って設定してください。

●道糸が切れてしまったら

・道糸が切れてしまった場合、糸切れ修正を行なってください。
切れたライン分のラインデータを修正します。通電状態のまま竿先まで巻き上げ、
RESET スイッチ を2秒以上押してください。表示が 0.0 になれば完了です。
※上記の作業によってラインデータが上書き（修正）されます。
※糸切れした場合のデータ修正以外は、カウンター誤差の原因になりますので、
RESET スイッチ の長押しはしないでください。

機能設定の基本操作「4.船べり停止」

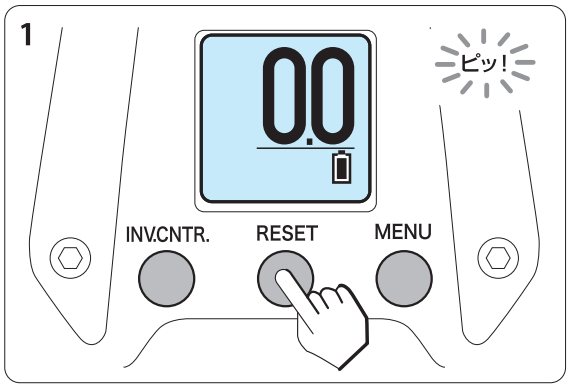
●えらべる船べり自動停止

船べり停止位置が思いのまま、さらに手返しラクラク。

・えらべる船べり自動停止は、INV.CNTR. スイッチ を押した位置より1m～5mの範囲内で船べり停止位置を任意に選んでセットすることができます。（10cm単位）
ただし、安全のため船べり停止位置は1m未満には設定できないようになっています。
・糸ののびにより船べり自動停止位置が下にズレてくるように感じることがあります。そのときは、再度、水面ゼロ設定をやり直してください。
・船べり停止位置付近では、安全のためパワーレバーでの操作がきかない場合があります。

1.リールを通電し、水面に仕掛けがある時に RESET スイッチ を押します。（水面ゼロ設定）

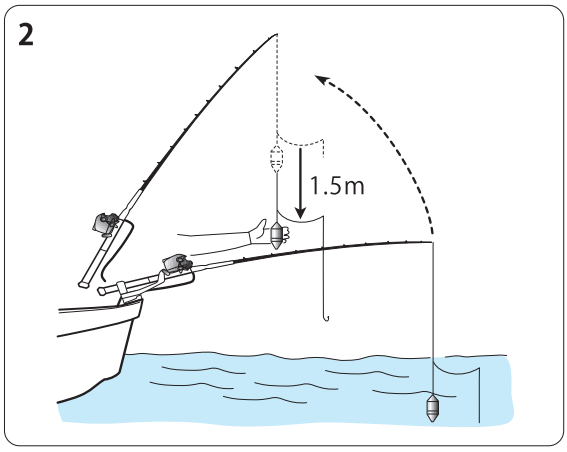
表示が 0.0 mになります。



2.ロッドを立てて、仕掛けの取りやすい位置や、取り込みのしやすい位置まで糸を出します。

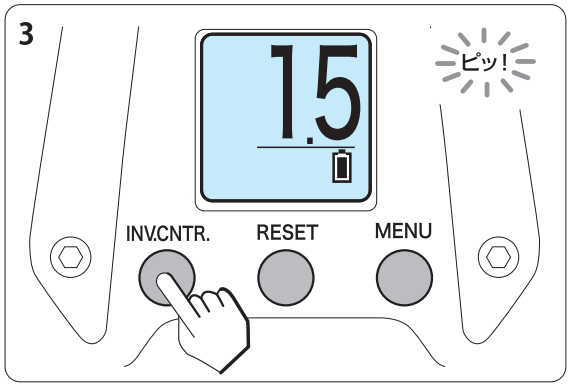
図の場合は1.5m

便利 ・竿を立てたとき仕掛けがちょうど手元にくるように設定すれば、手返しに大変便利です。



3.その位置で INV.CNTR. スイッチ を約2秒間押し続けます。

“ピー”と鳴れば、セット完了です。
※船べり自動停止の初期設定は2.0mです。
（RESET スイッチを押さない場合は、5.0mで止まります。）



4.仕掛けを回収する時は、設定値で自動で電動巻上げを停止しますので、ロッドを立てれば仕掛けが手元に来ます。

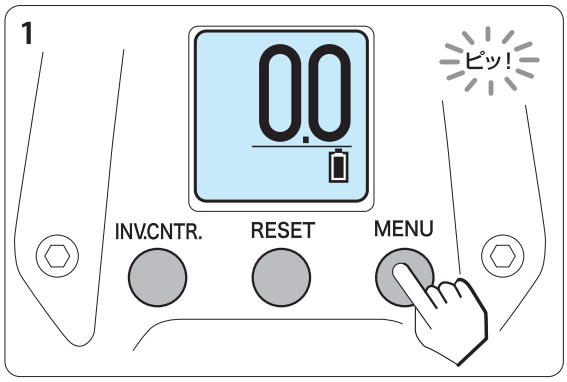
機能設定の基本操作「5.底からカウンター」

水深カウンターの下に底からカウンターを表示することができます。
※初期設定では、底からカウンターは「OFF」となっています。

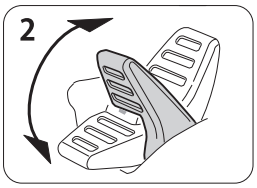
●底からカウンター

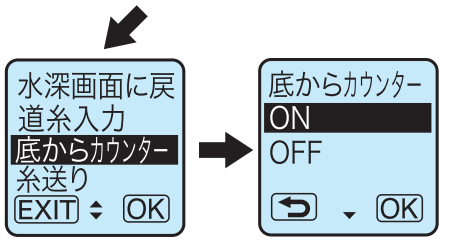
上からも底からも測れる2つのカウンターが棚を両面攻撃。

1. MENU スイッチを押してメニュー画面にしてください。



2.パワーレバーで「底からカウンター」を選択し OK (MENU スイッチ) を押し、さらにパワーレバーで「ON」を選択し OK (MENU スイッチ) を押します。

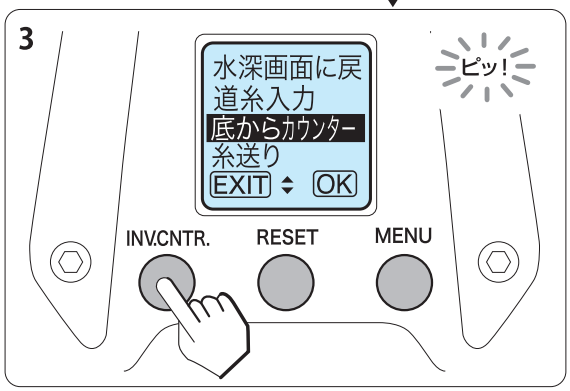




(メニュー画面)　(底からカウンター)

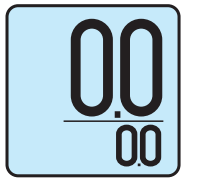
3.メニュー画面へ戻り、EXIT (INV.CNTR. スイッチ)を押します。

4.水深カウンターの下に底からカウンターが表示されます。



EXIT (INV.CNTR. スイッチ)を押す

5.仕掛けを投入して、底や狙いの棚など任意の位置で INV.CNTR. スイッチ を押すことで、底からカウンターが 0.0 になり、その地点を基準にカウンターが動きます。



(水深カウンターに戻る)

> **注意**
> ・電源電圧が低い場合には底からカウンターの表示はされず、電池マークが優先して表示されます。

機能設定の基本操作「6.糸送り機能」

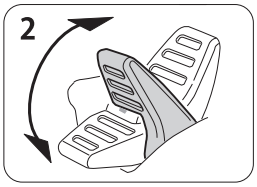
●糸送り機能

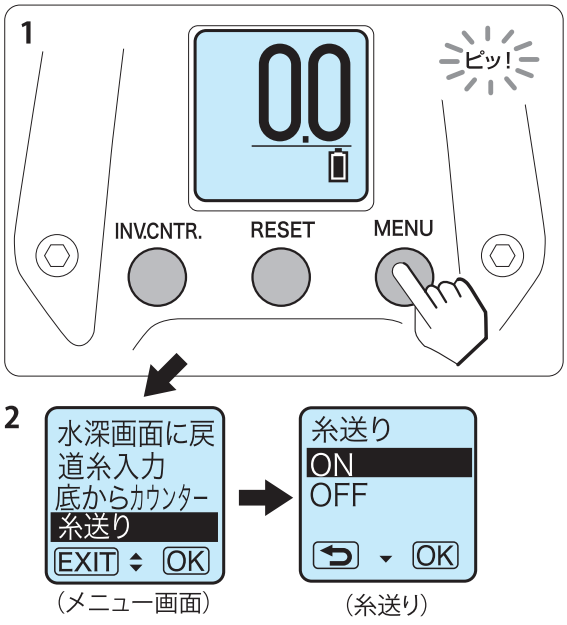
モーターギアが逆転し、スプールが糸の出る方向に回って糸の出を補助します。

●糸送り

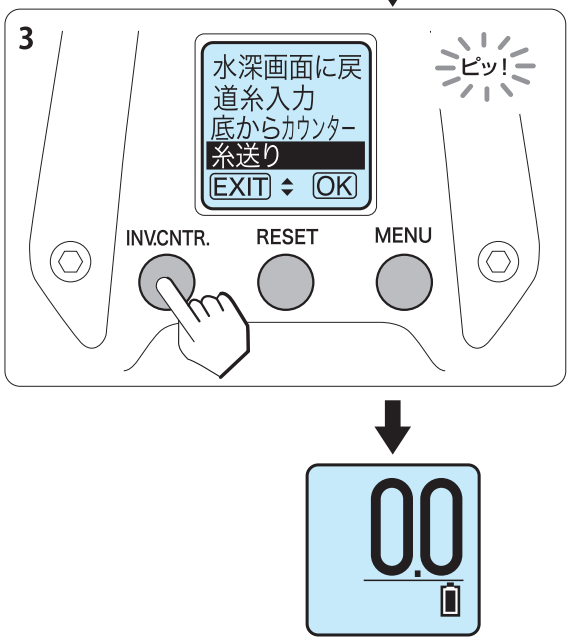
1. MENU スイッチを押してメニュー画面にしてください。

2.パワーレバーで「糸送り」を選択し OK（ MENU スイッチ）を押し、さらにパワーレバーで「ON」を選択し OK（ MENU スイッチ）を押してセット完了です。





3.メニュー画面へ戻り、EXIT（ INV.CNTR. スイッチ）を押すと水深画面へ戻ります。



・クラッチをOFFにして仕掛けを投入すると、糸送り機能が船べり停止位置プラス2.5mから作動します。
・仕掛け落下によるスプール回転の速度に応じて糸送り出力を自動調整します。
・糸送り中にパワーレバーが動いた場合は、糸送りを中止します。
・バックラッシュ等で一定時間以上糸送りが止まると、再スタートしません。

⚠注意

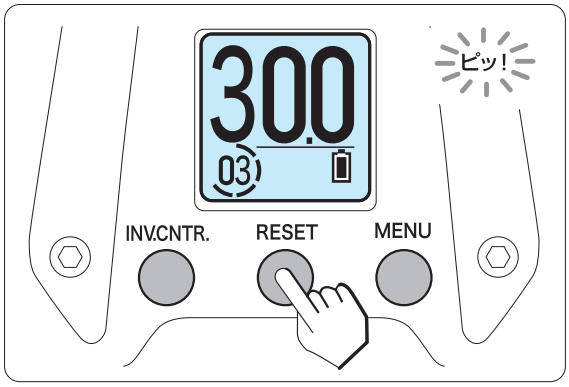
・糸送り（モーター作動）中にクラッチをONにすると、糸が巻き込むときがあります。
・船の上下動が激しい場合や風が強い場合に糸送り設定がONで仕掛け投入するとバックラッシュが発生しやすくなり、スムーズな仕掛落下を阻害することがあります。

機能設定の基本操作「7.タイマー」

●タイマー

毎回、仕掛け投入経過時間をズバリ表示。手返しペースを作るのにとっても便利。

・仕掛け投入開始からの経過時間を表示します。仕掛け回収のタイミングを測る目安になります。
・タイマーは仕掛け投入後、水面カウンター7.0mよりオートスタートします。



※1分以内は秒単位、1分以上は分単位で表示されます。
※タイマー機能は解除できません。
※タイマーを正しくお使いいただくために、仕掛けを船べり自動停止位置まで巻き取ってから次の投入をしてください。

注意

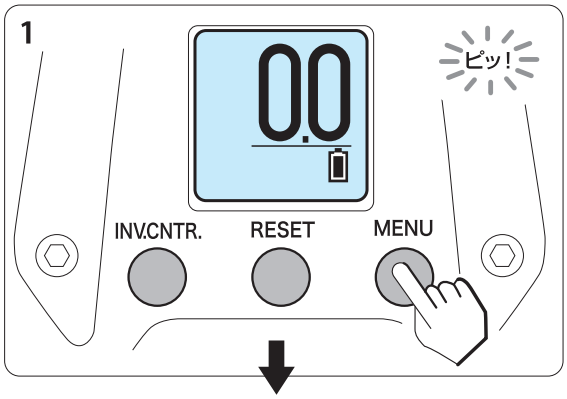
・途中で INV.CNTR. スイッチを押した場合は、タイマー表示が 0 からスタートします。

機能設定の基本操作「8.実釣来歴」

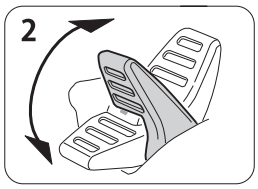
●実釣来歴

電動リールの総巻上距離と総使用時間を確認できます。
※表示値には多少誤差が生じることがあります。

1. MENU スイッチを押してメニュー画面にしてください。



2.パワーレバーで「実釣来歴」を選択し OK（ MENU スイッチ）を押します。





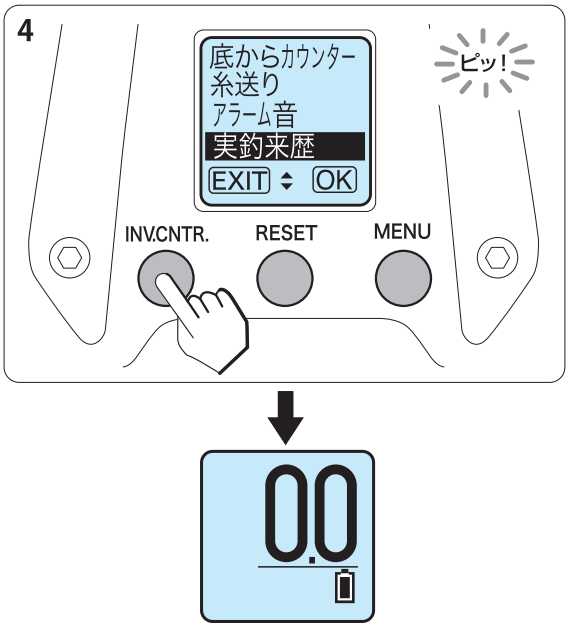
（メニュー画面）

3.総巻上距離と総使用時間が確認できます。
OK（ MENU スイッチ）を押すとメニュー画面に戻ります。



（表示例）

4.メニュー画面から EXIT（ INV.CNTR. スイッチ）を押すと水深画面に戻ります。



機能設定の基本操作「9.その他の便利機能」

●いろいろアラーム

船べり、棚メモリー…さまざまな情報を音でお知らせ、いろいろなアラーム。



パワーレバーアラーム

・パワーレバーのMAXの位置と、OFFの位置をアラーム音でお知らせします。

船べりお知らせアラーム

・巻上げ中、船べり停止6m手前より2m間隔でピッ、船べり停止位置でピーッと鳴り仕掛けが船べりにだんだん近付いて来るのをお知らせします。

棚メモリーお知らせアラーム

・仕掛け投入中、メモリーした棚の10m手前より2m間隔でピッ、メモリーした棚ではピーッと鳴り、メモリーした棚にだんだん近付いて行くのをお知らせします。

※棚さぐり時に頻繁にアラームが鳴らないように棚メモリーお知らせアラームはメモリーした棚より6m以上巻上げてから、再度糸を出さないと鳴らないようになっています。

底からカウンターを設定することで、棚メモリーお知らせアラームは機能します。

スイッチアラーム

・各スイッチを押すと、アラーム（ピッ）が鳴り、スイッチが確実に押されたことを音で確かめられます。（メニュー設定によりOFFにすることもできます。）

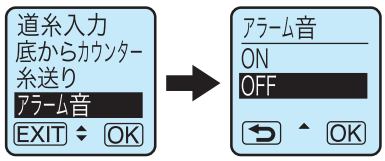
過電圧警告アラーム

・電源電圧がリールの使用可能範囲より高いとき、連続アラーム音を発し、警告します。ただちにその電源の使用をおやめください。

●アラームON・OFF選択

アラーム音を設定により消すことができます。



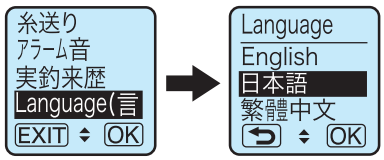


・初期設定はONになっています。
・アラームをOFFにすると、スイッチ操作やパワーレバーを操作してもアラーム音は出ません。

1.メニュー画面でアラームON・OFF画面にしてください。
2.パワーレバーを操作してOFFにしてください。
3. OK（ MENU スイッチ）を押したらセット完了です。
4.メニュー画面より EXIT（ INV.CNTR. スイッチ）を押すと水深画面に戻ります。

●Language（言語）選択

液晶画面に表示される言語を英語/日本語/繁体中文/簡体中文/スペイン語/フランス語/ドイツ語/イタリア語/韓国語から選択できます。



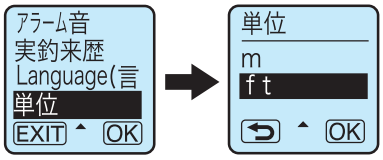
1.メニュー画面でLanguage画面にしてください。
2.パワーレバーで希望の言語を選択してください。
3. OK（ MENU スイッチ）を押してメニューに戻ったらセット完了です。
4.メニュー画面より EXIT（ INV.CNTR. スイッチ）を押すと水深画面に戻ります。

機能設定の基本操作「9.その他の便利機能」

●単位選択

液晶画面に表示される数値の単位をm(メートル)/ft(フィート)から選択できます。
※ただし、ft（フィート）表示に設定した場合でも道糸入力時に限り、m（メートル）表示となります。

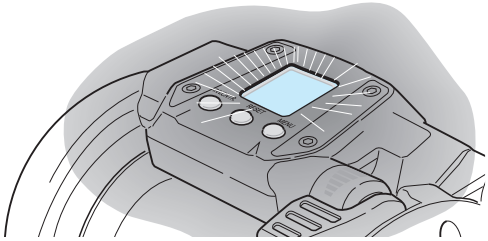
1.メニュー画面で単位画面にしてください。
2.パワーレバーで希望の単位を選択にしてください。
3. OK（ MENU スイッチ）を押してメニュー画面に戻ったらセット完了です。
4.メニュー画面より EXIT（ INV.CNTR. スイッチ）を押すと水深画面に戻ります。



●カウンターランプ

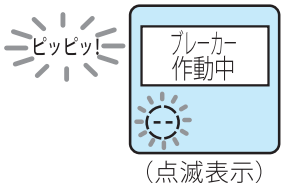
カウンター内のランプが常に点灯。

・薄暗いところでもカウンターが見えるよう、通電中はいつもカウンター内のランプがついています。



●ブレーカー作動表示

・リール本体の破損を防止するため、過度な負荷が加わったり、過度な温度上昇を検知するとブレーカーが作動し、巻上げ動作を停止します。過度な負荷が加えられた場合には15秒間、過度な温度上昇が起きた場合には適当な温度になるまで停止します。

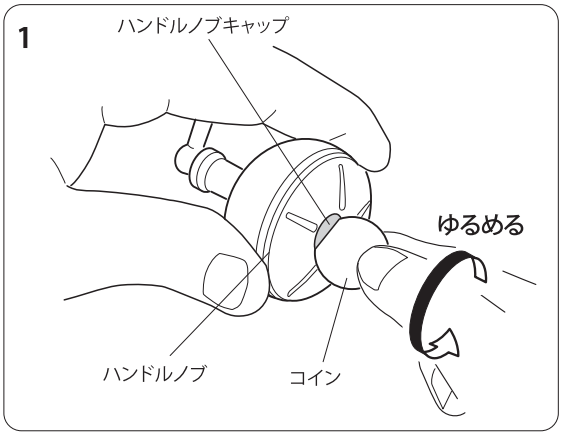


（点滅表示）

機能設定の基本操作「10.ハンドルノブの取り外し方」

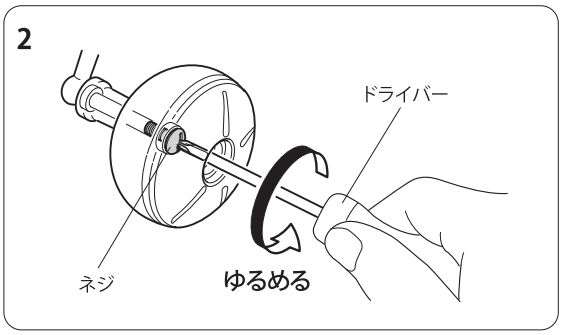
1.ハンドルノブを手で押えながらコインでハンドルノブキャップをゆるめて外します。

※ハンドルノブキャップにコインをしっかりかみ合わせて回さないと、ハンドルノブキャップが傷付いてしまいますのでご注意ください。

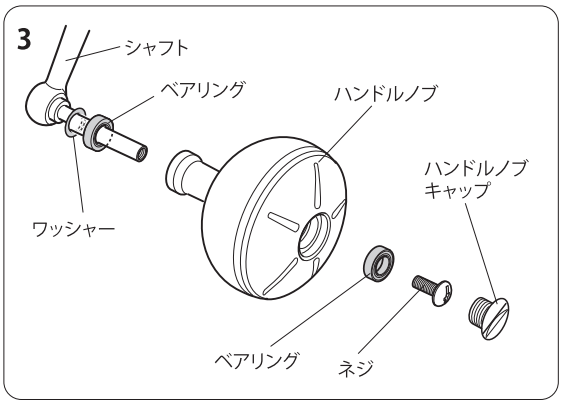


2.ドライバーでノブ内部のスクリューをゆるめて外します。

※スクリューには、ゆるみ止め防止剤が付いていて、ゆるみにくくなっています。ネジ山を傷めないようにご注意ください。



3. 部品構成は図のようになります。

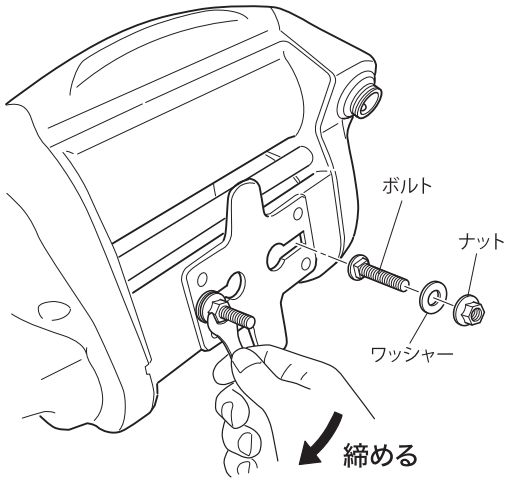


機能設定の基本操作「12.ロッドクランプ装着方法」

金属バットへの装着や、負荷の大きい釣りの場合は、必ずロッドクランプをご使用ください。
（※ロッドクランプは、バットの直径が18～34mmの太さまで取付け可能です。）

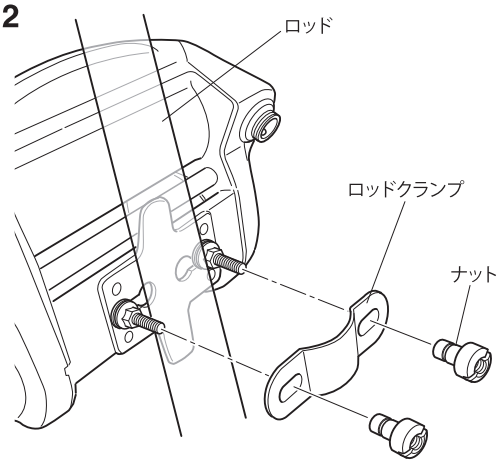
1.フレームの取り付け穴にボルトを差し込み、ワッシャー、ナットを取り付けて固定します。

1



2.リールをロッドにセットし、ロッドをはさみ込むようにロッドの下からクランププレートをあて、クランププレートナットを取り付けて固定します。

2



⚠注意

・ロッドのリールシート部が樹脂の場合、ナットを強く締め込み過ぎますとリールシート部が破損する恐れがあります。
・ボルトのみ取り付けた状態で釣りをされますと、ネジ部で手を切る恐れがありますのでおやめください。

仕様一覧

●リール仕様一覧

シーパワー1200

製品コード			00810033
ギア比（手動時）			2.1:1
標準自重(g)			2,110
最大ドラグ力(kg)			30
標準巻糸量(m) ※ブライトとは、当社棚センサーブライト(PE)のことです。	ブライト(号)	6	1,300
		8	1,000
		10	800
		12	600
	ナイロン(号)	12	800
		14	650
		16	550
ボールベアリング入数			10
電源電圧			DC12V～16.8V
最大巻上力　※1		(Kg)	363
常用巻上速度(1kg負荷時)　※2		(m/分)	120
JAFS基準巻上力　※3		(Kg)	28
JAFS基準巻上速度　※3		(m/分)	140
電流(A)	無負荷時		4
	定格		5.5
	最大		35
変速機能	無負荷時		0～140 m/分（無段階変速）
最適バッテリー			ダイワスーパーリチウムシリーズ ダイワタフバッテリーシリーズ

※1：最大巻上力＝電源電圧13 V、軸トルクによる参考値。(Kg＝Kgf･cm)
※2：常用巻上速度＝電源電圧13 V、1kg負荷時の100m巻上げ速度の平均。
※3：JAFS基準巻上力/巻上速度＝日本釣用品工業会規程、電源電圧13 Vにおける測定値。

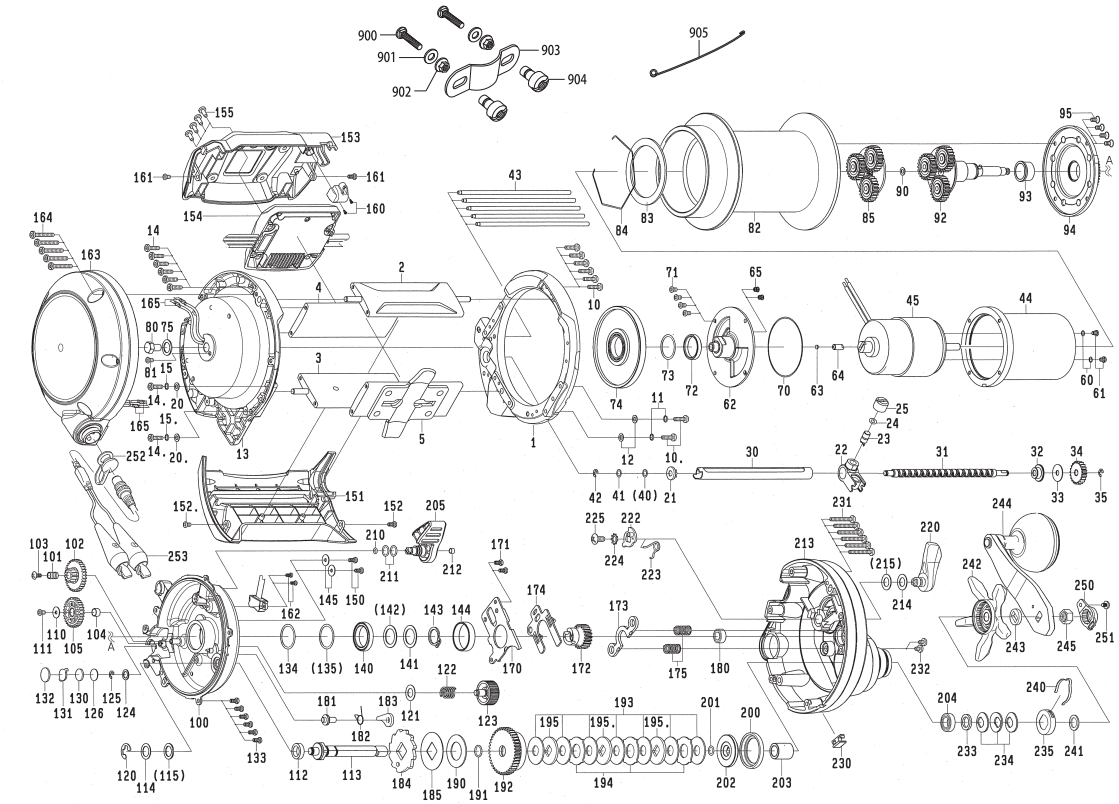
●カウンター部仕様

水深表示範囲	上のカウンター：0.0～3000 m 下のカウンター：－3000～3000 m
使用可能温度	－10℃～60℃

※改良のため、仕様を予告なく変更することがあります。

展開図

シーパワー1200



No,	部品名	No,	部品名	No,	部品名	No,	部品名
1	RSリング	73	モーターホルダー(B)W	135	調整用W	201	ドラグOリング
2	パーミングプレート(A)	74	モーターホルダー(B)プレート	140	スプールプレートボールベアリング	202	ドラグディスクカラー
3	パーミングプレート(B)	75	LSセットプレートW	141	スプールプレートボールベアリングW(B)	203	ドラグカラー
4	パーミングプレート(C)	80	LSセットプレートSC(A)	142	調整用W	204	ハンドルボールベアリング
5	スタンド	81	LSセットプレートSC(B)	143	スプールギア(B)リテイナー	205	ジョグパワーレバー
10	RSリングSC	82	スプール	144	セットプレートカラー	210	パワーレバーOリング(A)
11	RSリングSC・W(A)	83	モーターホルダー(A)W	145	セットプレートカラーW	211	ジョグパワーレバーOリング(B)
12	RSリングSC・W(B)	84	モーターホルダー(A)リング	150	セットプレートカラーSC	212	ジョグパワーレバーカラー
13	LSセットプレート	85	スプールギア(A)	151	フィンガーカバー	213	RSプレート
14	LSセットプレートSC	89→90	スプールギアW	152	フィンガーカバーSC	214	クラッチレバーW
15	LSセットプレートSC・W(A)	92	スプールギア(B)	153	ICモジュールカバー	215	調整用W
20	LSセットプレートSC・W(B)	93	スプールプレートカラー	154	ICモジュール	220	クラッチレバー
21	ウォームシャフトカラー(A)	94	スプールプレート	155	ICモジュールカバーSC(A)	222	クラッチカム
22	レベルワインド	95	スプールプレートSC	160	センサーSC	223	クラッチカムSP
23	ボール	100	セットアプレート	161	ICモジュールカバーSC(B)	224	クラッチカムW
24	ボールW	101	アイドルギア(A)カラー	162	センサーSC	225	クラッチカムSC
25	ボールホルダーナット	102	アイドルギア(A)	163	LSプレート	230	ラインストッパー
30	ウォームシールド	103	アイドルギア(A)SC	164	LSプレートSC	231	RSプレートSC(A)
31	ウォームシャフト	104	アイドルギア(B)カラー	165	コードカバー	232	RSプレートSC(B)
32	ウォームシャフトカラー(B)	105	アイドルギア(B)	170	プレート	233	ハンドルベアリングW
33	ウォームシャフトギアW	110	アイドルギア(B)W	171	プレートSC	234	ドラグSP・W
34	ウォームシャフトギア	111	アイドルギア(B)SC	172	ピニオン	235	ドラグホルダー
35	ウォームシャフトリテイナー	112	ギアシャフトブッシュ	173	クラッチプレート	240	ドラグリーフSP
40	調整用W	113	ギアシャフト	174	スライドプレート	241	スタードラグW
41	ウォームシャフトW	114	ギアシャフトW	175	クラッチプレートSP	242	スタードラグ
42	ウォームシャフトリテイナー	115	調整用W	180	RSボールベアリング	243	ハンドルカラー
43	ボスト	120	ギアシャフトリテイナー	181	ストッパーピン	244	ハンドル
44	モーターホルダー(A)	121	メカニカルブレーキノブW(A)	182	ストッパーSP	245	ハンドルナット
45	モーター	122	メカニカルブレーキノブSP	183	ストッパー	250	ハンドルキャップ
60	モーターホルダー(A)SC・Oリング	123	メカニカルブレーキノブ	184	ラチェット	251	ハンドルキャップSC
61	モーターホルダー(A)SC	124	メカニカルブレーキノブW(B)	185	ラチェットW	252	コネクターキャップ
62	モーターホルダー(B)	125	メカニカルブレーキノブリテイナー	190	ドライブギアW	253	コード
63	モーターカラーW	126	メカニカルブレーキW(A)	191	ギアシャフトOリング	900	クランプSC
64	モーターカラー	130	メカニカルブレーキW(B)	192	ドライブギア	901	クランプSC・W
65	モーターホルダー(B)パッキン	131	メカニカルブレーキW(C)	193	ドラグW	902	クランプSCナット
70	モーターホルダー(B)Oリング	132	メカニカルブレーキW(D)	194	ドラグリップW	903	クランププレート
71	モーターホルダー(B)SC	133	セットプレートSC	195	ドラグディスクW	904	クランププレートナット
72	モーターホルダー(B)カラー	134	スプールプレートボールベアリングW(A)	200	ドラグパッキン	905	イトトオシピン

※調整、その他により、展開図、部品表内容が製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

故障かな?と考える前に

症　状	考えられる原因	処　置	参照ページ
パワーレバーを操作しても、モーターが回転しない。	・船べり停止後、そのまま巻き続けカウンター表示が 2.0 mになっています。	・正常です。(巻込み防止のため手動以外作動しないようにしてあります)。	P32
	・レバーを1度OFFの位置に戻していません。	・1度レバーをOFFの位置に戻して巻上げを開始してください。	P16
	・安定しない船の電源を使用しています。	・船電源は不安定で、正常に作動しないことがあります。電動リール専用バッテリーをご使用ください。	P11
	・クラッチがOFFの状態です。	・クラッチをONにすると巻上げが再開します。	P16
カウンターがつかない。	・バッテリーの残量切れです。	・バッテリーを再充電してご使用ください。	P11
	・コードの断線です。	・コードを新品と交換してください。	P14
	・バッテリーと ⊕ 、⊖ が正しく接続されていません。	・⊕、⊖の逆接なく、確実に接続し直してください。	P10
船べり停止位置がおかしい。	・仕掛けセットしたとき、RESETスイッチを押していません。	・仕掛けをセットした後は必ず水面ゼロ設定をしてください。	P31
	・オモリの号数や船のゆれによって多少ズレることがあります。	・えらべる船べり停止の設定値を調整してください。	P32
	・糸がのびて水面ゼロ設定点が下にズレてしまっています。	・水面ゼロ設定を再度行ってください。	P31
カウンター表示に誤差が多い。	・使用中に道糸がのびることがあり、カウンター表示と色糸との間に差が生じることがあります。	・再度、道糸データを入力してください。	P21~30
	・実釣中、電源が消えた時に糸を巻いてしまった。	・再度、道糸データを入力してください。	P21~30
	・糸を出している時に、RESETスイッチを長押ししてしまった。	・再度、道糸データを入力してください。	

※上記の点検が行なわれてもなお、正常に戻らない場合、およびほかの故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際は、お買い求めの販売店、または取説裏面に記載されたお客様センターにおたずねください。

アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際はお買い求めの販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター（無料）　携帯電話からもご利用できます

TEL　0120-506-204

受付時間：9:00～17:00　（土・日・祝祭日は除く）

ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます

www.daiwa.com/jp/

グローブライド株式会社

〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16